

令和6年度

# 事業報告書



社会福祉  
法人

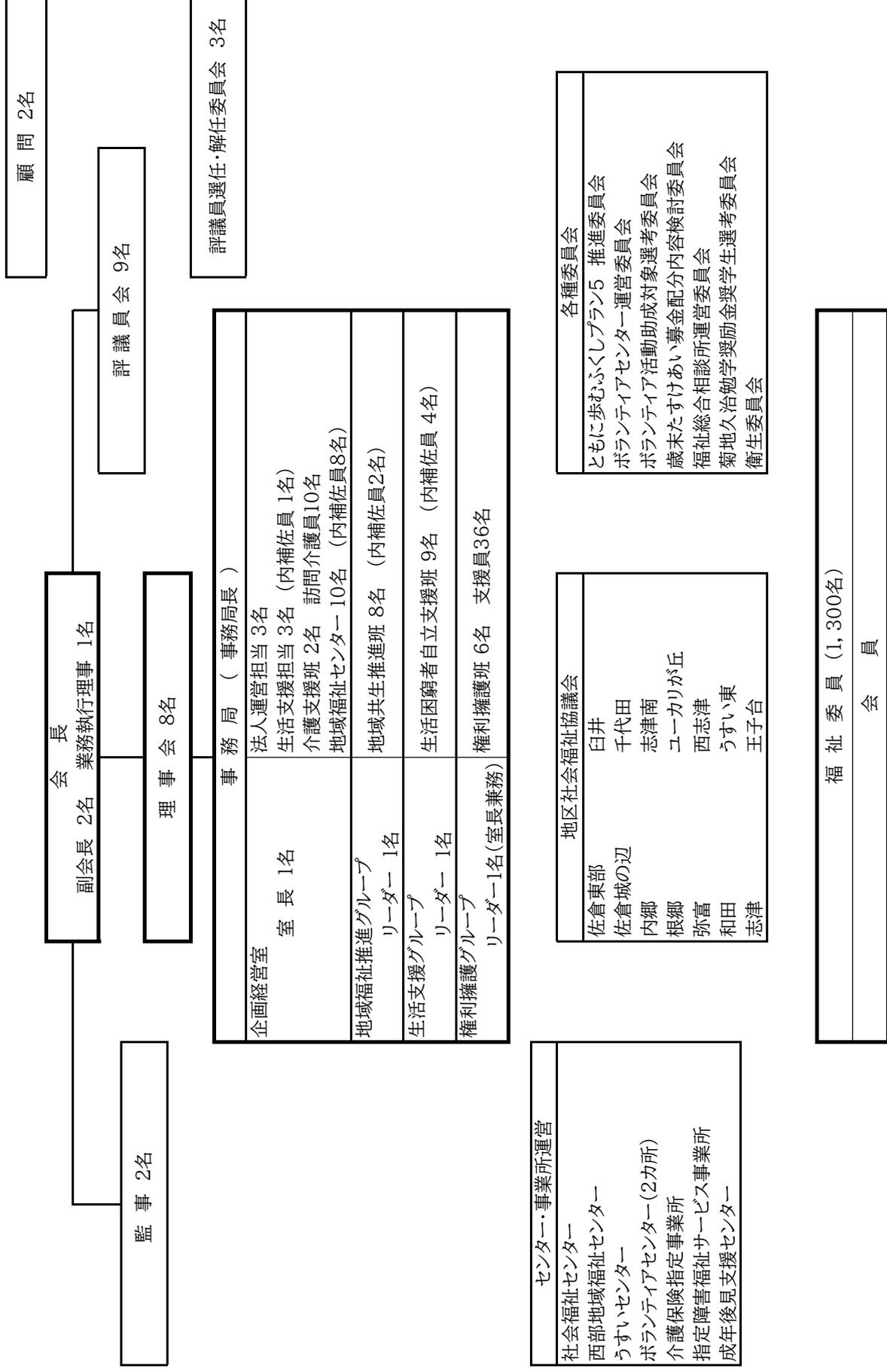
佐倉市社会福祉協議会

# 目 次

総 括	1
I 社会福祉事業	
1 法人運営	
(1)組織の運営	3
(2)組織体制基盤の強化	6
(3)福祉功労者表彰	7
(4)会員募集	10
(5)災害時対応	11
(6)ブランディングに関する研究	12
2 地域福祉ネットワーク	
(1)佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定	13
(2)地区社会福祉協議会活動の推進	15
(3)団体活動支援・連携	19
(4)さくらあったか食堂ネットワーク	24
3 ボランティアセンター	
(1)ボランティア活動の普及・推進	29
(2)佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	33
(3)福祉教育推進事業	34
4 企画広報	
(1)広報啓発事業	35
5 善意銀行	
(1)金銭、物品の預託、払い出し	36
(2)小口貸付事業	36
(3)フードドライブへの協力	36
6 在宅福祉	
(1)ふれあい・いきいきサロン事業	37
(2)ふれあい型食事サービス事業	37
(3)おもちゃ図書館	37
(4)車イス貸出事業	38
(5)菊地久治奨学福祉事業	38
(6)法人後見事業	41
(7)移動サービス事業	43
(8)生活困窮世帯子ども支援事業	44
(9)終末ケア・終活支援事業	44

<b>7 福祉総合相談事業</b>	.....	4 5
<b>8 受託事業</b>		
(1)声の広報等発行事業	.....	4 8
(2)障害について学ぶ市民講座	.....	4 9
(3)生活福祉資金貸付事業	.....	4 9
(4)日常生活自立支援事業	.....	5 0
(5)成年後見支援センター	.....	5 3
(6)生活困窮者自立支援事業	.....	5 6
(7)介護人材確保対策事業	.....	6 4
<b>9 基金</b>		
(1)福祉基金	.....	6 8
(2)菊地久治勉学奨励基金	.....	6 8
(3)元気に育て子ども基金	.....	6 8
(4)稲垣成こ勉学奨励基金	.....	6 8
(5)福得孝養基金	.....	6 8
<b>10 共同募金配分事業</b>		
(1)歳末たすけあい運動	.....	6 9
(2)児童福祉事業	.....	7 1
<b>11 共同募金事業への協力</b>	.....	7 2
<b>12 居宅介護</b>		
(1)障害福祉サービス事業	.....	7 3
(2)訪問介護員派遣事業	.....	7 4
(3)相談支援事業	.....	7 4
<b>II 公益事業</b>		
<b>1 指定管理事業</b>	.....	7 7
西部地域福祉センターの管理運営		
<b>III 収益事業</b>		
<b>1 手数料の収入</b>	.....	8 2
<b>◆ 役員・評議員名簿</b>	.....	8 3

■ 社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織（令和7年3月31日現在）



## 令和6年度 事業報告（総括）

令和6年度は、コロナ禍を忘れさせるほどの活発な地域福祉活動が展開され、“再始動”から“コロナ前の日常”への回帰が着々と進んでいることが実感できる一年でした。“ともに歩むふくしプラン5”の推進と“地域福祉コーディネーター”の本格稼働は、地域福祉の日常への回帰を大きく後押ししました。プラン5の基本目標である『すべての人に居場所と役割のあるまち』を築いていくためには、地域福祉コーディネーターを中心に、地域をつなぎ、地域がつながり合うことが大切であることを、あらためて強く認識しました。

また、「社協ブランディング」に関する取り組みでは、宮崎県都城市社協と協働出来ることになり、今後の本会の運営にとって大変有意義な機会を得ることが出来ました。引き続き、本会の財務の安定を図りつつ、新たなチャレンジとして研究する契機にもなりました。

なお、今年度での「移動サービス事業」の終了にあたり長きに渡りご利用、ご支援いただきました皆様に心から感謝を申し上げたいと存じます。

### 【重点実施事項】

#### 1. “ともに歩むふくしプラン5”の推進を通じた地域づくりの実践

令和6年度から推進を始めた“ともに歩むふくしプラン5”は、その初年度にあたり、まずはプランの存在を多くの方に知ってもらうために、様々な場面でプランの持つ意義や役割・必要性を伝えてきました。

また、推進の成果や効果を具体的に示すため、実践内容を数値化して表現する方法を確立し、次年度以降の新たな評価手法としました。

#### 2. 生活困窮者自立支援事業によるアウトリーチ支援事業並びに地域づくり支援事業を活用した“地域福祉コーディネーター”の本格稼働

地域福祉コーディネーターを2名配置し、地区社協の会議や行事、民児協定例会、自治会等の会議や、市内20か所の郵便局、相談支援機関等に訪問し、事業周知とネットワーク構築に取り組んだ結果、相談件数及びプラン件数が大幅に増加にしました。これらの数値は、積極的なアウトリーチによる成果とも言えます。

また、新規就労先企業の開拓や地区社協と連携によるひきこもり支援に積極的に取り組むとともに、中志津自治会の協力によるセミナーを2回開催し、自治会と連携した地域づくりを実践しました。

### 3. 地域福祉推進事業、生活困窮者自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、権利擁護事業、介護事業等を連動させた包括的な課題解決体制の構築

地域で生活する方々が抱える福祉課題は、年々複雑化・多様化しており、様々な相談に対応するために、本会が実施する各個別支援事業間の連携が不可欠となります。こうした内部連携の実践が随所に見られるようになり、地域福祉コーディネーターを核とした課題解決の取り組みも数多く実践されました。

コロナウイルスの影響を多く受け、経済的な自立が継続して困難な状況であったり、新たな課題が浮彫になった世帯も多くあり、生活困窮者自立支援窓口や地域担当部署、行政等と連携をしながらネットワークを活かした相談支援を行いました。

### 4. 階層別職員研修の実施による事務局体制の強化と職員のスキルアップ

社協職員の資質向上と並びに組織体制基盤の強化を図るため、階層別職員研修等の実施(内部研修)及び外部研修の積極的参加等について、組織的かつ計画的に進めることが出来ました。また、包括的な課題解決体制の構築のために、継続的な学習機会と、職域別や職種別などの横断的な取り組みに係る研究の必要性が確認することが出来ました。

県社会福祉協議会で実施されているCSW(コミュニティーソーシャルワーカー)の基礎研修やファローアップ研修等にも積極的に職員を参加させ、伴走型支援としての訪問相談スキルを磨く場の提供を実践しました。

以下、令和6年度の各事業の概要を報告いたします。

# I 社会福祉事業

## 1 法人運営

### ・市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条（昭和 26 年 3 月 29 日法律第 45 号）に規定された社会福祉法人です。

この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉（「地域福祉」という）の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです。（法第 1 条）

### ・市町村社会福祉協議会の事業（社会福祉法第 109 条抜粋）

- 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 前 3 号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

### (1) 組織の運営

組織運営を適切かつ円滑に行い、理事会・評議員会・監査等のガバナンス機能を正確性に確認し、的確かつ適正な予算執行並びに事業計画の進捗の管理等を行った。また、今年度は、市の援助団体等監査や法人指導監査を受けるなど、法人運営に係る適切な助言を頂くことが出来た。

#### (ア) 理事会開催状況

月日	場所	上程議案	出席数
第 1 回 5/29	2 階会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和 5 年度事業報告の承認</li><li>・令和 5 年度資金収支決算の承認</li><li>・補欠評議員選任候補者の承認について</li><li>・評議員選任・解任委員会の招集について</li><li>・定時評議員会の招集について</li></ul>	理事 7 名 監事 2 名 顧問 1 名
書面同意による みなし決議		<ul style="list-style-type: none"><li>・移動サービス事業の終了について</li></ul>	全役員

第2回 9/20	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度被表彰者の選定について</li> <li>職員給与規程の一部改正について</li> </ul>	理事8名 監事2名
第3回 2/21	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職職員の任免について</li> </ul>	理事8名 監事2名
第4回 3/19	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業計画について</li> <li>令和7年度予算について</li> <li>令和6年度補正予算について</li> <li>経理規程の一部改正について</li> <li>嘱託員就業規程の一部改正について</li> <li>嘱託員給与規程の一部改正について</li> <li>再雇用嘱託員給与規程の一部改正について</li> <li>契約の締結について</li> <li>令和7年度役員等賠償責任保険の契約について</li> <li>評議員会の招集について</li> </ul>	理事7名 監事1名

(イ) 評議員会開催状況

月日	場所	上程議案	出席数
第1回 6/21	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業報告の承認</li> <li>令和5年度資金収支決算の承認</li> </ul>	評議員7名 監事1名
第2回 3/28	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度事業計画の承認について</li> <li>令和7年度予算の承認について</li> <li>令和6年度補正予算の承認について</li> <li>評議員、理事、監事の報酬等支給基準の承認について</li> </ul>	評議員9名

(ウ) 監事による定期監査(定款第22条に基づく)

月日	場所	内容	出席数
5/17	2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度事業報告並びに決算の監査</li> </ul>	監事2名 理事2名

(エ) 内部監査人による内部会計監査(経理規程第72条に基づく)

月日	場所	内容	出席数
6/13	会長室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度 1月~3月分会計処理状況確認</li> </ul>	監査人1名
8/15	会長室	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 4月~6月分会計処理状況確認</li> </ul>	監査人1名

2/7	会長室	・令和6年度 7月～12月分会計処理状況確認	監査人1名
-----	-----	------------------------	-------

(オ) 評議員選任・解任委員会

月日	場所	内容	出席数
5/29	会長室	・補欠評議員1名の選任について	委員3名

(カ) 佐倉市財政援助団体等監査(地方自治法第199条第7項に基づく)

月日	場所	内容	出席数
9/27	1号館6階 会議室	・補助金交付団体の補助金の適正執行について	監査員3名

(キ) 社会福祉法人指導監査(社会福祉法第56条に基づく)

月日	場所	内容	出席数
12/19	2階会議室	・社会福祉法人の運営及び会計管理について	監査員3名

(ク) 福祉サービス利用援助事業現地調査

月日	場所	内容	出席数
1/24	2階会議室	・福祉サービス利用援助事業現地調査	調査員3名

(ケ) 指定障害福祉サービス事業者等への実地指導

(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第11条に基づく)

月日	場所	内容	出席数
1/27	会長室	・居宅介護、重度訪問介護、同行援護について	指導員2名

## (2) 組織体制基盤の強化

産業医を佐倉市の内科医に委嘱し、職場環境及び職員の心身の衛生管理を行い、組織体制の強化を図った。年2回の衛生委員会に加え、全職員を対象としたストレスチェックの受検案内、並びに産業医との個別面談を実施し、職場内の環境改善と職員の健康増進を図った。

### (ア) 衛生委員会

第1回	月 日	令和6年6月13日
	内 容	1. 令和6年度健康診断結果について 2. 今後の感染対策について
	産業医	池 克志
第2回	月 日	令和7年2月13日
	内 容	1. 令和6年度ストレスチェックについて 2. 令和6年度振り返り 3. 令和7年度社会福祉協議会産業医衛生業務計画について
	産業医	池 克志

### (イ) 産業医衛生業務

月日	内 容
4/11	・ 令和6年度業務実施打合せ ・ 社会福祉センター執務場所等の状況確認
5/9	・ 西部地域福祉センター執務場所等の状況確認
7/11	・ 職員健康相談、面接（事務局）
8/8	・ 職員健康相談、面接（事務局）
9/12	・ 職員健康相談、面接（西部地域福祉センター）
10/10	・ 職員健康相談、面接（事務局）
11/14	・ 職員健康相談、面接（事務局）
12/12	・ 職員健康相談、面接（事務局）・ 感染症対策の確認
1/9	・ 職員健康相談、面接（事務局）・ 感染症対策の確認
2/13	・ 職員健康相談、面接（事務局）
3/13	・ 職員健康相談、面接（事務局）・ ストレスチェックの実施確認

※職員産業医面接 計 38名

※ストレスチェック受検者 計 58名

### (3) 福祉功労者表彰

令和6年度に社会福祉の発展に功労のあった方々、並びに多額の寄付による社会貢献を頂いた方々、功績が特に顕著であると認められるものに対して表彰するとともに、これからの地域福祉のあり方や、本会が果たすべき役割の整理と活動の強化に繋げた。

#### (ア) 福祉功労者表彰式

月 日 : 令和6年12月7日 **※ コロナウイルス集団感染のため中止**  
 場 所 : 佐倉市中央公民館 大ホール  
 被表彰者 : 132 個人・団体 (個人 111・団体 21)

特別功労賞 (会長表彰後 10 年以上) 《17 名》							【敬称略】
粟飯原正直	阿部多加子	池 克志	白杵 哲	北澤君夫	小池節子	佐藤直子	
鈴木 勉	豊田 一	内藤達子	内藤寛子	中沢良子	錦織好子	福島富士雄	
南 朝子	宮坂正秀	山崎浩子					

会長表彰 役員・評議員・委員 (8 年以上) 《69 名》							【敬称略】
秋永利夫	飯沼隆一	伊賀朗氏	石井美恵	石川綾乃	石渡 孝	和泉久美江	
市橋敬子	稲田敏昭	井上雅一	猪俣 昇	今井 優	上之園良子	太田原 修	
大塚孝憲	岡野純子	岡野春美	岡本寿万子	小川美津子	小川幸男	荻巢捷二	
小澤延孔	小根山武久	金子勝彦	川上りつ子	川口 茂	川久保京子	岸本律子	
北岡雅也	久米富雄	栗山ルリ子	黒野政子	斎藤道子	酒井和明	境橋千秋	
迫 和枝	佐和田優子	設楽徳雄	鈴木恵理	関本正弘	高梨暉巳	高橋保雄	
竹内富藏	竹川昌子	竹鼻 始	田淵敦子	鱸居優子	中山雅史	那須忠雄	
丹羽健治	橋本みゆき	服部國雄	花島邦夫	濱中美智子	林 一夫	東田さよ子	
日暮芳恵	平川 弘	藤江 潔	藤寄秀秋	藤原道男	宮田久美子	武藤静江	
森 信夫	守屋明美	梁瀬 寛	山口善久	吉原宏見	渡邊美智子		

会長感謝状 多額寄付者							【敬称略】
〔個人〕(3 万円以上) 《7 名》							
木原 亨	酒井久男	立石光夫	波多野稔夫	早坂光恵	細谷幸平	盧 俊雄	
〔団体〕(10 万円以上) 《11 団体》							

- ・栗山自動車工業株式会社 ・佐倉市民カレッジ文化祭実行委員会 ・佐倉商工会議所
- ・佐倉商工会議所女性会 ・有限会社サンコーポレーション ・十割そばさちの
- ・生活協同組合コープみらい ・株式会社ディーシーエム ・一般社団法人成田法人会
- ・明治安田生命保険相互会社 成田支社 ・山万グループ（山万株式会社 ほか）

### 福祉活動功績者

【敬称略】

#### 〔個人〕《10名》

荒川るり子	泉千津子	遠藤とも子	幸田てるみ	佐久間孝子	本間 達	宮田久美子
村田万里子	山崎浩子	渡邊 暁子				

#### 〔団体〕《2団体》

- ・影絵塾9（代表者：河西久美子） ・NOUT（ノーツ）（代表者：田沼正次）

### 特別会員

【敬称略】

#### 〔個人〕（10年以上）《5名》

岩淵 功	岡田金一	金子和江	宮代次雄	湯本修司		
------	------	------	------	------	--	--

#### 〔個人〕（20年以上）《2名》

長谷川大美	古屋富子					
-------	------	--	--	--	--	--

#### 〔個人〕（40年以上）《1名》

大野哲義						
------	--	--	--	--	--	--

#### 〔団体〕（10年以上）《2団体》

- ・社会福祉法人福葉会 佐倉福葉苑
- ・社会福祉法人千手会 さくら福寿苑

#### 〔団体〕（30年以上）《6団体》

- ・社会福祉法人愛光 めいわ ・社会福祉法人愛光 リホープ ・社会福祉法人愛光 ルミエール
- ・社会福祉法人千手会 木の宮学園 ・社会福祉法人千手会 さくら千手園
- ・株式会社常磐植物化学研究所

#### （イ）第74回千葉県社会福祉大会

月 日 ： 令和6年11月14日

場 所 ： 青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市内)

主 催 ： 千葉県

社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

社会福祉法人千葉県共同募金会

内 容 : 千葉県社会福祉の発展に多大な功績のあった社会福祉関係者に対して、千葉県知事・千葉県社会福祉協議会会長・千葉県共同募金会長から表彰状及び感謝状を贈呈し長年の尽力に敬意と感謝を表した。

<b>千葉県知事表彰《 2名》</b>	<b>【敬称略】</b>
・大木律子(民生委員・児童委員) ・池田浩一(社会福祉施設・団体役職員)	
<b>千葉県社会福祉協議会会長表彰</b>	<b>【敬称略】</b>
<b>民生委員・児童委員功労《 4名》</b>	
・石渡あけ海(志津北部)・榎原妙子(志津南部)・山下等(志津南部)・岡崎好子(根郷)	
<b>社会福祉施設・団体役職員功労《 7名》</b>	
・島田朋美(特別養護老人ホームさくら苑)	
・石井八重(さくら苑居宅介護支援センター)	
・前島敦子(社会福祉法人清明会くつろぎの里)	
・永井まゆみ(社会福祉法人清明会くつろぎの里)	
・清水美江(社会福祉法人愛光)	
・岩井聡子(障害者支援施設めいわ根郷通所センター)	
・佐々木良子(障害者支援施設ルミエール)	
<b>千葉県社会福祉協議会会長感謝状《 3名》</b>	<b>【敬称略】</b>
・武藤博文 ・株式会社スズキ技研 ・松山 毅	
<b>千葉県共同募金会会長表彰状</b>	<b>【敬称略】</b>
<b>共同募金奉仕功労者(民生委員・児童委員)《 5名》</b>	
・保谷信子 ・石渡あけ海 ・中野貞己 ・森田よし子 ・佐々木とく子	
<b>共同募金優良地区・団体 《 12団体》</b>	
・飯野区 ・鷹匠町内会 ・田町第三町内会 ・岩名区 ・鏑木仲田町町内会 ・間之町町内会	
・上代区 ・天辺区 ・野田自治会 ・羽鳥区 ・岩富区 ・富士見台自治会	
<b>千葉県共同募金会会長感謝状</b>	<b>【敬称略】</b>
・一般財団法人日本老人福祉財団介護付有料老人ホーム 佐倉ゆうゆうの里	

<b>生命保険協会千葉県協会が実施する「福祉巡回車」の寄贈</b>
・軽自動車 スズキ アルトA 2WD ホワイト (令和6年12月4日受領)

#### (4) 会員募集

住民主体の地域福祉活動を進めるため、説明用スライドを使用し社協説明会において説明するなど、地区社協や地域の懇談会等の機会を捉えて会員制度についてのPRに努めた。各地区社協や福祉委員会の活動等に対する助成をはじめ、ボランティア活動の支援や本会の広報誌である社協だよりの発行など、「すべての人に居場所と役割があるまち」づくりの推進にむけた各種事業に活用した。

##### (ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般会費	33,462 世帯	34,157 世帯	34,468 世帯
	16,731,419 円	17,078,675 円	17,234,331 円
賛助会費	68 人	71 人	111 人
	70,000 円	78,000 円	123,000 円
特別会費（個人）	92 人	110 人	116 人
	330,000 円	278,000 円	296,000 円
特別会費（団体）	88 団体	91 団体	92 団体
	910,000 円	910,000 円	930,000 円
合 計	33,711 組	34,429 組	34,787 組
	18,041,419 円	18,344,675 円	18,583,331 円

##### (イ) 自治会・町会・地区代表者への社協説明会

月日	対象	場 所	参加者
令和6年4月27日	市内全域	佐倉市民音楽ホール(ハーモニーホール)	151名

##### (ウ) 法人会員募集の強化

法人会員拡大をめざし、法人運営の財源基盤の拡充に向けて、社協パンフレットを作成し、各団体への説明・資料送付等を行い会員募集の強化を図った。  
また、市内工業団地の企業へ出向き、多くの社員様向けに社協のアピールの場(時間)を作っていたいただき、積極的に広報活動を行うことで福祉の理解の機会となった。

## (5) 災害時対応

防災をテーマにした研修を佐倉青年会議所と連携し開催した。災害ボランティアセンター運営のDX化の研修や、災害ボランティアセンターネットワーク会議では能登半島地震の被災地支援活動報告を通じ、あらためて災害時の団体間連携の重要性について確認することが出来た。

### (ア) 佐倉青年会議所主催防災食研修

青年会議所より講師について相談を受けていた能登半島地震の被災地支援の「食支援」について、新八千代病院の大嶋晶子氏の講義を聴講した。

月 日 : 令和6年8月28日

場 所 : 佐倉商工会議所3階会議室

参加者 : 3名

### (イ) 佐倉市市民防災訓練へのブース出展

写真等掲示物により災害ボランティアセンターの周知と、災害ボランティアセンターのアンケート調査を行った。

月 日 : 令和6年10月13日

場 所 : 染井野小学校

回答数 : 112名

### (ウ) 第1回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議

千葉県主催の災害時における行政、圏域・近隣市同士の連携や災害中間組織との連携を目的とした研修へ参加した。

月 日 : 令和6年10月29日

場 所 : 成田国際文化会館 第3・4会議室

参加者 : 1名

### (エ) 第2回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議

災害ボランティアセンターの運営に関する市民活動支援組織どうしの支援力向上を目指し、佐倉市自治人権推進課と危機管理課と共に参加した。

月 日 : 令和6年10月31日

場 所 : 社会福祉センター3階会議室

参加者 : 1名

### (オ) 佐倉・産業大博覧会2024にてブース出展

災害ボランティアセンターの周知及び社協のPRと募金活動を行った。パネル展示による活動紹介と災害時用レトルト食品、保存水等を配布し災害意識の啓発を行った。

月 日 : 令和6年11月9日・10日

場 所 : 佐倉草ぶえの丘 啓発品配布数 500セット

職員数 : 8名

(カ) 佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議

頻発化している災害に対応するために、発災した場合の災害ボランティアセンターの円滑な運営への備えとして、関係団体との連携による協力体制の強化を目指して開催した。

月 日 : 令和7年2月4日  
場 所 : 社会福祉センター地下研修室  
参加者 : 27名

(キ) 令和6年度佐倉市災害ボランティアセンター運営訓練

来年度より導入予定の災害ボランティアセンター運営システム「Kintone」の操作方法等について、県社協職員牧内大輔氏を講師に招き、オブザーバーとしてCVOADの加納基成代表を迎え行い、その後、職員を対象として「Kintone」を使用したボランティアセンターの運営訓練を実施した。

月 日 : 令和7年3月8日  
場 所 : 社会福祉センター事務局内（佐倉市役所内）  
参加者 : 18名（近隣市社協の八街、酒々井町社協職員含む）

(ク) 令和6年度能登半島地震に伴う災害ボランティアセンター運営支援に係る職員派遣

令和6年能登半島地震発生に伴う被災地での復旧に向けた災害ボランティアセンターの運営支援として職員派遣を行い、復興支援活動に寄与した。

月 日 : 令和6年4月12日～18日【第19クール】  
場 所 : 石川県 穴水町災害ボランティアセンター  
派 遣 : 1名

## (6) ブランディングに関する研究

本会の地域福祉を推進する過程で策定したブランド・アイデンティティについて、宮崎県都城市社協との交流機会に恵まれ、相互に情報交換のチャンスを得ることが出来た。

月 日 : 令和6年11月21日  
場 所 : 佐倉市社会福祉協議会事務局  
来 訪 : 都城市社協より2名（総務課・広報デジタル推進室職員）  
内 容 : 佐倉市社協のブランディングに関する取組経緯・現状の報告

月 日 : 令和7年2月28日～3月2日  
場 所 : 都城市社会福祉協議会事務局  
(宮崎県都城市松元町4街区17号 都城市総合社会福祉センター)  
訪 問 : 本会より2名（事務局長、生活支援グループリーダー）  
内 容 : 都城市・佐倉市両社協のブランディングに関する取組報告・意見交換  
各事業所見学、都城市社協主催関係機関職員研修の参加等

## 2 地域福祉ネットワーク

重点実施事項のひとつである“ともに歩むふくしプラン5”の推進を通じた地域づくり実践として、活動計画の各項目における数量的実績を捉えた進捗状況把握、各地区社協活動による住民協働、福祉コミュニティ活動の促進、福祉活動団体の事務局として、活動支援や運営協力などを通じた地域づくりを実践した。

### (1) 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定

#### (ア) 市(社会福祉課)・社協事務局 連絡会議

月日	4/18	5/16	6/20	7/18	9/2	9/20	10/24	12/20	1/17	3/27
共通議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 両計画の状況について</li> <li>② さくらあったか食堂ネットワークの活動状況について</li> <li>③ ボランティアセンターの概況について</li> <li>④ 地域福祉コーディネーター事業の活動状況について</li> <li>⑤ 生活困窮者自立支援事業について</li> <li>⑥ 「広報さくら」への記事掲載について</li> <li>⑦ 令和6年度地域福祉フォーラムについて</li> <li>⑧ 物価高騰対策臨時給付金支給事業について</li> </ul>									

#### (イ) とともに歩むふくしプラン推進委員会

月日	場所	内容
第1回 7/30	地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員自己紹介</li> <li>・委員長・副委員長の選任について</li> </ul> 協議事項 (1) 「ともに歩むふくしプラン5」の推進について (2) 「ともに歩むふくしプラン5」の推進方法について
第2回 2/18	地下研修室	報告事項 (1) 前回会議の概要報告について (2) 地域福祉フォーラムについて 協議事項 ① 「活動状況表」の読み取り方について ② 市社協における「活動状況表」(上半期)推進状況について ③ 地域福祉コーディネーター(アウトリーチ支援員)の推進状況 ④ 地区社協における「活動状況表」(上半期)推進状況の説明 ・地域福祉コーディネーターの役割・機能 ・活動状況とコーディネーターの実際の動き(事例紹介含む)

(ウ) プロジェクト会議

毎月1回～2回	合計13回開催	メンバー(職員)7名
<p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>①ともに歩むふくしプラン5推進委員会の委員推薦状況について</p> <p>②佐倉市と市社協との両計画事務局間連絡会議報告について</p> <p>③地域福祉フォーラムの開催について</p> <p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>①プランプロジェクト会議メンバーについて</p> <p>②プランプロジェクト会議の年間スケジュールについて</p> <p>③「ともに歩むふくしプラン5」市社協・地区社協の評価表の検討について</p>		

(エ) 地域福祉フォーラム

月 日	令和6年10月5日
場 所	志津コミュニティセンター大ホール
参加者	66名
	<p>&lt;&lt;主催者&gt;&gt;</p> <p>佐倉市長 西田 三十五 氏</p> <p>佐倉市社会福祉協議会 会長 大藏 文子</p> <p>&lt;&lt;来賓&gt;&gt;</p> <p>佐倉市議会議長 敷根 文裕 氏</p>
第1部	<p>○両計画の概要報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次佐倉市地域福祉計画 佐倉市福祉部長 山本 淳子</li> <li>・ともに歩むふくしプラン5 (第7次佐倉市地域福祉活動計画)</li> <li>佐倉市社会福祉協議会 事務局長 深沢 孝志</li> <li>・地域福祉コーディネーターの取り組みについて</li> <li>地域福祉コーディネーター 岡本 一成・岡本 祥子</li> </ul>
第2部	<p>○あったかパントリーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あったかパントリーができた背景について</li> <li>佐倉市社会福祉協議会 地域福祉推進グループリーダー 杉山 美枝子</li> <li>・食材管理作業 (パントリー) 協力者からの立場から</li> <li>ワークショップかぶらぎ ※ビデオメッセージ</li> <li>・パントリーを利用する立場から ～ごはんでつながる仲間たち～</li> <li>さくらあったか食堂ネットワーク 副代表 唯 愛 氏</li> <li>・こども食堂・地域食堂を利用する立場から</li> <li>夕焼けごはん 中村 知亜希 氏</li> </ul>

「コ－ディネーター 国際医療福祉大学大学院 教授 小林 雅彦  
氏」

## (2) 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会の活動の推進に寄与し、住民参加と協働による福祉コミュニティ活動の促進を図った。また、地区社協会長会議を行い社協活動について情報交換し各地区の活動へ繋げることが出来た。

### (ア)地区社協会長及び事務局長会議の開催

第1回	地区社会福祉協議会会長・事務局長会議
月 日	令和6年4月25日
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	26名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年度市社協事業計画及び地区担当体制について</li><li>・地区社協活動費について</li><li>・令和6年度福祉功績者の推薦について</li><li>・地区社協活動関係書類の提出について</li><li>・ともに歩むふくしプラン5の推進について</li><li>・ともに歩むふくしプラン5推進委員会設置要綱について</li><li>・災害時における市社協・地区社協の役割について(その後)</li><li>・地域福祉コーディネーターモデル事業による圏域小中学校保護者アンケート結果について</li><li>・地域福祉コーディネーターの活動について</li></ul>

第2回	地区社会福祉協議会会長・事務局長会議
月 日	令和6年9月18日
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	28名
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ともに歩むふくしプラン5の推進について</li><li>・地域福祉コーディネーターモデル事業による圏域小中保護者アンケート結果から子育て世帯との連携について</li><li>・地域福祉コーディネーターについて</li></ul>

第3回	地区社会福祉協議会会長会議
月 日	令和7年2月26日

場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	15名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度地区代表福祉委員の推薦依頼について</li> <li>・ともに歩むふくしプラン5推進について</li> <li>・サロン・100円喫茶・体操教室など居場所に関する事業部等懇談会</li> <li>・地域福祉コーディネーターより</li> <li>・ボランティア活動助成対象選考委員会委員の選出について</li> <li>・社協の役割について～新たな活動から学ぶ</li> </ul>

(イ) 支えあいサービス実務者の集い（支えあいカフェ）の開催

月 日	令和6年7月29日
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	18名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用状況・運営等について</li> <li>・情報交換</li> <li>・コーディネーターの後継者に関して</li> </ul>

(ウ) 支えあいサービスサポーター研修の開催

月 日	第1回 11/13 第2回 11/19 第3回 11/27
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	延べ24名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援</li> <li>・支え合い活動</li> <li>・まとめ</li> </ul>

(エ) サロン・100円喫茶・体操教室など居場所に関する事業部等懇談会

月 日	令和7年1月20日
場 所	社会福祉センター地下研修室
参加者	19名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介・活動紹介</li> <li>・質疑・気になることなど</li> <li>・各地区活動共有・意見交換</li> </ul>

(オ)地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者 食事サービス		広報
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	2回	12回	0回	0人	3回	94人	4回
2	佐倉城の辺	3回	12回	1回	37人	2回	73人	3回
3	内郷	3回	12回	3回	115人	2回	75人	3回
4	根郷	3回	20回	1回	33人	0回	0人	4回
5	弥富	5回	5回	0回	0人	2回	86人	3回
6	和田	3回	4回	2回	53人	0回	0人	4回
7	志津	3回	16回	2回	43人	0回	0人	2回
8	臼井	10回	10回	0回	0人	0回	0人	3回
9	千代田	3回	12回	0回	0人	0回	0人	3回
10	志津南	5回	8回	0回	0人	1回	77人	3回
11	ユーカーが丘	4回	24回	4回	124人	3回	82人	3回
12	西志津	4回	18回	1回	46人	1回	50人	6回
13	うすい東	6回	9回	1回	46人	2回	161人	3回
14	王子台	6回	6回	1回	45人	0回	0人	3回
合計		60回	168回	16回	542人	16回	698人	47回

(カ)地区社協のおもな活動

<b>①高齢者福祉事業</b>
A) ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
B) ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
C) グランドゴルフ大会の開催
D) いきいきサロン・100円喫茶の運営
<b>②障がい者・児福祉事業</b>
A) 社会福祉施設への訪問
B) 障がい者・児への援助活動
C) 障がい者・児とその家族との交流
<b>③児童・青少年福祉事業</b>

- A) 児童・青少年健全育成活動
- B) 各種スポーツ大会の開催
- C) 学習支援
- D) 子育て支援事業
- E) 世代間交流事業（昔あそび、ふれあい昼食会など）
- F) 学校行事支援
- G) こども食堂

#### ④地域福祉活動

- A) 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会・講座の開催
- B) 生活改善、環境美化運動の推進
- C) 社会福祉協議会会員の募集
- D) 地域行事への参加、援助、協力
- E) 社会福祉団体の育成、援助
- F) 社会福祉に関する調査、研究、PR活動
- G) 福祉まつり・バザーの実施

#### ⑤支えあい活動

- A) 支えあい活動の実施
- B) 支えあいサービスの実施
- C) コミュニティ喫茶の実施
- D) 買い物支援の実施

#### ⑥募金活動

- A) 共同募金運動への協力（共同募金事業の項参照）、
- B) 赤い羽根、歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
- C) 「愛の箱」募金活動

#### ⑦研修事業

- ・研修会、福祉講演会等の開催及び参加

#### ⑧広報活動

- ・地区社協広報紙の発行（自治会・町内会等を通じ配布）
- ・ホームページの開設  
（佐倉東部、佐倉城の辺、内郷、志津、白井、千代田、ユーカーが丘、志津南、王子台、うすい東、根郷）

### (3) 団体活動支援・連携

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市社会福祉施設協議会、佐倉市障がい者団体等連絡会、佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の事務局を担い、運営協力と活動支援をし、各団体の活動支援や運営協力並びに行政機関との連携を図った。

#### (ア) 佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援（定例会など）

No.	月日	場 所	内 容	人数
1	4/8	2階会議室	第7回 FUKUSHIJOBS 実行委員会 ・イベント取りまとめ・最終確認 ・ポスターチラシの配布について	10名
2	5/11	イオンタウン ユーカリが丘店	FUKUSHIJOBS	27名
3	5/15	地下研修室	第1回定例会・施設長研修 ・研修「佐倉市の福祉施策動向等について」 ・令和5年度事業報告及び決算について ・令和6年度事業計画及び予算について ・令和6年度 FUKUSHIJOBS 報告及び役割分担について	21名
4	5/31	2階会議室	第8回 FUKUSHIJOBS 実行委員会（反省会） ・実施状況について（各ブースより） ・次回開催について	16名
5	8/14	地下研修室	市長との懇談会・第2回定例会 ・市長との懇談及び意見交換 ・要望書の進め方について ・FUKUSHIJOBS について	25名
6	11/6	地下研修室	第1回 FUKUSHIJOBS 実行委員会 ・前回の反省点について ・日程について	13名
7	11/11	地下研修室	施設協 職員合同研修 ・ハラスメント研修（ハラスメントの現状と対策について） 講師：千葉県労務協会 廣田 直也	24名
8	12/18	地下研修室	市との懇談会（高齢者分野） ・施設協会員（高齢者分野）と介護保険課、高齢者福祉課の職員との懇談会を実施	15名
9	1/15	地下研修室	市との懇談会（障害分野） ・施設協会員（障害分野）と障害福祉課の職員と	13名

			の懇談会を実施	
10	1/22	地下研修室	<p>市長との懇談会・第3回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画（案）について</li> <li>・「佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会」の次期委員の推薦について</li> <li>・「佐倉市認知症対策検討会」委員の推薦について</li> <li>・佐倉市在宅医療・介護連絡会議委員の推薦</li> <li>・市長との懇談会</li> </ul>	33名
11	3/4	地下研修室	<p>第2回 FUKUSHIJOBS 実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日程について</li> <li>・佐倉西高で実施した授業の内容について</li> <li>・集客方法について</li> </ul>	15名
12	3/7	地下研修室	<p>第4回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業計画及び予算案について</li> <li>・各種委員の推薦について</li> <li>・FUKUSHIJOBS について</li> <li>・その他</li> <li>・分野別に分かれた意見交換</li> </ul>	22名

(イ) 佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援（定例会）

No.	月日	場 所	内 容	人数
1	5/22	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉市障害福祉課の令和6年度施策説明</li> <li>・令和5年度事業報告、決算報告、監査報告</li> <li>・令和6年度事業計画、予算</li> <li>・障害者総合支援協議会及び障害者差別解消支援地域協議会委員の推薦について</li> </ul>	13名
2	7/24	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6回まちのバリア点検会について</li> <li>・王子台小学校まちのバリア点検について</li> <li>・障害者総合支援協議会の対応について</li> <li>・障害者差別解消支援地域協議会委員の対応について</li> <li>・選挙について</li> </ul>	11名
3	9/25	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回まちのバリア点検会について</li> <li>・障害者総合支援協議会の対応について</li> <li>・障害者差別解消支援地域協議会委員の対応について</li> <li>・佐倉市民憲章推進協議会の新規加入について</li> </ul>	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回「ともに歩むふくしプラン5」推薦委員会について</li> </ul>	
4	11/27	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉市民憲章推進協議会の新規加入について</li> <li>・改正障害者差別解消法の施工に関するアンケートのお願い</li> <li>・令和7年度定例会の開催日程について</li> <li>・第7回まちのバリア点検会について</li> <li>・障がい者への合理的配慮について</li> <li>・福祉教育の協力について</li> <li>・障害者週間イベントについて</li> <li>・第14回障害者作品展「ふれあいギャラリー」開催について</li> </ul>	10名
5	1/22	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員会より</li> <li>・令和7年度事業方針の検討について</li> <li>・令和7年度役員体制について</li> <li>・障害者総合支援協議会の対応について</li> <li>・障害者差別解消支援地域協議会委員の対応について</li> <li>・第7回まちのバリア点検会について</li> </ul>	10名
6	3/26	西部地域福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度決算見込みについて</li> <li>・令和6年度事業計画案の承認について</li> <li>・令和6年度予算案の承認について</li> </ul>	10名

a. まちのバリア点検会ワーキンググループ

No.	月日	場 所	内 容	人数
1	7/10	2階会議室	・開催日時、作業工程、4地区社協への実行委員依頼について	5名
2	8/29	2階会議室	・開催要項、点検箇所、広報について	8名
3	10/21	ユーカーが丘出張所	・点検箇所の下見について	3名
4	12/6	臼井公民館	・点検箇所の下見を実施、役割分担、タイムスケジュール、資機材の手配、参加者アンケート等について	10名
5	1/8	2階会議室	・当日の準備確認、次回実行委員会に向けての確認について	5名

6	1/14	2階会議室	・当日の参加者確認及び振り分け、当日のタイムスケジュールの確認について	15名
7	1/27	2階会議室	・第7回まちのバリア点検会ふりかえり、報告書の写真選定について	4名
8	2/26	2階会議室	・第7回まちのバリア点検会報告書製本作業	4名
9	3/3	2階会議室	・4地区社協バリア点検報告会	8名

b. まちのバリア点検会

月 日	令和7年1月19日
場 所	京成臼井駅、臼井公民館、京成臼井駅前交番、イオン臼井、ヤオコー佐倉染井野店、マツモトキヨシザ・マーケットプレイス佐倉店、しまむら染井野店、DAISO ザ・マーケットプレイス佐倉店
内 容	参加者は3班に分かれ、車いすを利用し障がい者目線で、公共施設や公共交通機関、商業施設のバリアを点検し、ワークショップで発表を行った。
参加者	障団連関係者14名、地区社協13名、民生委員1名、V連協1名、千葉盲学校教員2名、千葉県立印旛特別支援学校1名、佐倉西高校9名、佐倉市障害福課1名、市社協3名 計45名

(ウ) 佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援

No.	月日	場 所	内 容	人数
1	7/25	2階会議室	① 法人紹介 ② 令和5年度事業報告・決算 ③ 令和6年度事業計画・予算 研修会： 外国籍労働者の日本での生活状況について	20名
2	10/9	松ヶ丘アリーナ	第1回ボッチャ大会実行員会 ・大会の規模の確認 ・ボランティアについて ・予算、記念品等について	4名
3	11/7	松ヶ丘アリーナ	第2回ボッチャ大会実行委員会 ・参加チーム状況の確認 ・スケジュール ・会場設営について ・昼食について ・順天堂大学の学生協力について	7名

4	11/19	松ヶ丘アリーナ	第3回ボッチャ大会実行委員会 ・参加チームについて ・大会要綱の確認 ・当日役割分担	7名
5	11/24	松ヶ丘アリーナ	令和6年度ボッチャ大会 16チームが参加。 アポワテックによる講習を行い、その後試合 (午前：リーグ戦、午後：決勝トーナメント) を行った。優勝は障害福祉課チーム	76名
6	1/17	松ヶ丘アリーナ	第4回ボッチャ大会実行委員会 ・大会の反省 ・実績報告 ・収支報告 ・次年度に向けた話し合い	6名

(エ) 印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対象	印旛地区中途失聴・難聴者
場所	佐倉中央公民館他

(オ) 民生委員・児童委員関連業務

佐倉市民生委員・児童委員協議会理事会及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。また、新任民生委員が委嘱された際には、説明会に出席し、社会福祉協議会活動の概要説明と福祉委員への就任依頼を行った。

#### (4) さくらあったか食堂ネットワーク

佐倉市内で子ども食堂・地域食堂を実施している団体のネットワークの事務局を担い、加盟団体同士の情報交換や広報活動、各種支援団体との連絡調整などにより側面支援を行った。また、新たにネットワークに加盟したい団体だけでなく、子ども食堂・地域食堂をはじめたい個人・団体の相談にのり地域の居場所が広がる支援を行った。

##### (ア) 定期総会

月 日	令和 6 年 4 月 18 日
場 所	佐倉市立中央公民館大ホール
参加者	30 名
内 容	① 令和 5 年度 事業報告について ② 令和 5 年度 決算報告について ③ 令和 5 年度 監査報告について ④ 規約の一部改正について ⑤ 令和 6 年度役員体制（案）について ⑥ 令和 6 年度活動計画（案）・予算（案）について

##### (イ) 定例会

月日	場 所	内 容	人数
4/18	佐倉市立中央公民館大ホール	・ノーツすこやか財団助成金について	28 名
5/9	南部地域福祉センター B 棟研修室	・あったか食堂ネットワークの Facebook の管理について ・あったか食堂 5 周年記念イベントについて	28 名
6/20	西部地域福祉センター 会議室	・①防災フェス②5 周年記念イベント③スタッフ間交流会 ・こども食堂に関する調査票について	23 名
7/18	佐倉市立中央公民館学習室	・イベントに進捗に関して	23 名
8/22	南部地域福祉センター B 棟研修室	・イベントに進捗に関して	27 名
9/19	西部地域福祉センター 会議室	・イベントに進捗に関して	29 名
10/17	佐倉市立中央公民館学習室	・イベントに進捗に関して	23 名
11/21	南部地域福祉センター B 棟研修室	・こそだちフェスイベントの振り返りについて ・スタッフ交流イベントについて ・ハウス「食と農と環境の体験教室」について	26 名

12/19	西部地域福祉センター 会議室	・スタッフ交流イベントについて	25名
1/16	佐倉市立中央公民館学 習室	・令和7年度さくらあったか食堂ネットワークの 活動に向けて	53名
2/20	南部地域福祉センター B棟研修室	・スタッフ交流イベントの振り返り ・令和7年度さくらあったか食堂ネットワークの 活動に向けて	27名
3/27	西部地域福祉センター 会議室	・令和7年度さくらあったか食堂ネットワークの 活動に向けて ・有限会社夏海石油 様（自動販売機売上金）から の災害関係寄付金の使い途について	26名

(ウ)役員会

月日	内 容	人数
4/11	・MIRAI KOMINKA for School 第4期プログラムについて ・令和5年度総会資料等について ・千葉県子ども食堂連絡会及び子ども食堂保険について ・食堂新規立ち上げ団体について	7名
5/9	・災害時の連絡手段について ・さくらあったか食堂ネットワークのFacebookの管理について ・記念イベントについて ・防災コンロやジップロックでの調理など、各食堂が持つノウハウの交換が できるようなイベントについて。(防災学習会的なものとして) ・中高生むけに長期休みなどで「子ども食堂でのボランティア体験」などの 啓発活動について	7名
6/13	・地域福祉通貨 ジィシィ企画・岩瀬薬品グループ再編成について ・公式ライン管理者の更新について ・夏海石油様寄付用通帳管理について ・イベントに関して(役員分担)防災フェス あったか5周年記念イベント あったか食堂のスタッフ間交流会 ・新規子ども食堂へののぼり貸出について ・子ども食堂に関する調査票について 市町村への要望の有無	6名
7/11	・イベントの進捗について ① 防災フェス ②あったか5周年記念イベント ③あったか食堂のスタ ッフ間交流会 ・新規団体の加入について ・佐倉市からの子ども食堂支援事業について	7名
8/8	・イベントについて	7名

	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 10/20（日）佐倉子育てフェス参加について</li> <li>② あったか食堂のスタッフ間交流会</li> <li>・新規団体の加入について</li> </ul>	
9/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行予約について 子ども食堂等の公共施設予約の方法について</li> <li>・新規団体の加入について</li> <li>・あったかパントリー連絡会について</li> <li>・イベントについて 各食堂の持ち寄りプレート、防災ブース、遊びブース</li> </ul>	6名
10/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉課より令和6年度佐倉市支え合い講演会について</li> <li>・令和7年度定例会日程について</li> <li>・クリスマスケーキ支援について</li> <li>・イベントについて 各食堂の持ち寄りプレート、防災ブース、遊びブース</li> </ul>	7名
11/14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域通貨について 白井イオンのフルーツアイランド&amp;八百一（ヤオイチ）様の件</li> <li>・ライオンズクラブ様からのケーキ支援について</li> <li>・ハウス「食と農と環境の体験教室」について</li> <li>・令和6年度千葉県子ども食堂ネットワーク会議について</li> <li>・MIRAI-KOMINKA for School について</li> <li>・イベント振り返りについて</li> <li>・スタッフ交流イベントについて</li> <li>・新規団体の加入について</li> <li>・千葉県子ども食堂サポートセンター印旛地区子ども食堂交流会について</li> </ul>	7名
12/12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県子ども食堂サポートセンター 印旛地区子ども食堂交流会について</li> <li>・スタッフ交流イベントについて</li> <li>・舞台「行きたい場所をどうぞ」あったかで子供たちにプレゼントすることについて</li> <li>・のぼり旗について</li> </ul>	5名
1/9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援団体との懇談会について</li> <li>・フルヤ乳業様からのコーヒー牛乳ご寄付に関して</li> <li>・スタッフ交流イベントについて</li> </ul>	6名
2/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度佐倉市支え合い講演会について</li> <li>・新規加入の団体について</li> <li>・スタッフ交流イベントの振り返り</li> <li>・令和7年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて</li> </ul>	7名
3/13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークへの寄付に関する報告について</li> <li>・新規加入希望団体について（かぐや姫憩いのカフェ）</li> <li>・学習支援団体との懇談会について</li> <li>・あったかパントリー連絡会について</li> <li>・「こども」の表記について・MAPの欠番について</li> </ul>	7名

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくらあったか食堂ネットワーク会則の改正について</li> <li>・令和7年度さくらあったか食堂ネットワークの活動に向けて【継続協議】</li> </ul>	
--	---	--

(エ) イベント関係

① ネットワーク5周年イベント、佐倉こそだちフェスにてブース出店

月 日	令和6年10月20日
場 所	佐倉城大手門跡広場
内 容	各食堂の持ち寄りプレート、防災ブース、遊びブース

② スタッフ交流イベント

月 日	令和7年1月16日
場 所	佐倉市立中央公民館 学習室3
人 数	53名
内 容	各団体1~2品料理を持ち寄り、歓談交流、レシピ集作成

(オ) 地域福祉フォーラム

あったかパントリーについて仕組みができる前後の変化や市民、企業、地域団体等との繋がりについて、唯愛副代表の方に発表者として登壇していただいた。

月 日	令和6年11月16日
場 所	佐倉ハーモニーホール
人 数	66名
内 容	こどもまんなかアクションリレーシンポジウム パネルディスカッション「こども・若者がいきいき育つまち」 パネリスト：松木悦子代表

(カ) 令和6年度佐倉市支え合い講演会

月 日	令和7年2月2日
場 所	志津コミュニティセンターホール
人 数	4名
内 容	市内活動団体からの発表 ・王子台6丁目わくわく体操会 ・ふれあいサービス絆 ・寺崎食堂（こども食堂） 市内団体ブース見学・交流会

(キ) セミナー参加

・「地域づくり」と「居場所のチカラ」を考える協働実践研修会～こども食堂の取組から～

月 日	令和6年6月21日
場 所	東京会場：飯田橋レインボービル 2 階 中会議室
人 数	11名

(ク)セミナー参加

・千葉県こども食堂サポートセンター 印旛地区子ども食堂交流会

月 日	令和6年11月27日
場 所	四街道市みんなで地域づくりセンター
人 数	5名

(ケ)MIRAI KOMINKA for School 第4期プログラム

(県立佐倉高校のSDGs探求学習)への協力

月 日	令和6年5月11日
場 所	社会福祉センター3階中会議室
人 数	5名
内 容	・MIRAI KOMINKA for School 第4期プログラム キックオフ式 さくらあったか食堂ネットワークの活動説明 松木悦子代表、小林眞智子前代表、大藏会長

月 日	令和6年12月21日
場 所	イオンモール八千代緑が丘店
人 数	1名
内 容	・MIRAI KOMINKA for School 第4期プログラム 活動報告会子ども食堂をSDGs探求学習

(コ)食を軸とした場づくり事業

食材、物品等の寄附を地域の食を通じた活動につなげる過程において、障がい者や生きづらさを抱えている方の社会参加の機会を創出することで、福祉コミュニティと寄附文化の醸成を図るために、あったかパントリー（さくらあったか食堂ネットワーク、ワークショップかぶらぎ、佐倉市社会福祉協議会の三者が行う寄付物品の受付、管理、引き渡しの仕組み）へ協力した。

- ・第1回 あったかパントリー連絡会 令和6年9月10日 参加者5名
- ・第2回 あったかパントリー連絡会 令和7年3月11日 参加者6名

※ワークショップかぶらぎへ食材管理作業を依頼（令和6年4月から令和7年3月まで）

### 3 ボランティアセンター

ボランティアの依頼や活動紹介のコーディネート、登録ボランティアへの活動支援、登録や保険に関する受付を行った。また、地域福祉センター、その他関係機関との連携、福祉教育やボランティア講座、広報等の情報発信により、新たな担い手の発掘、育成、ボランティア活動の普及推進の取り組みを行った。

#### (1) ボランティア活動の普及・推進

##### (ア) ボランティアのコーディネート

《相談に対するコーディネート》

種別	佐倉市VC	西部VC	南部VC	合計
支援希望相談	97件	9件	14件	120件
活動希望相談	73件	137件	12件	222件
情報提供	15件	20件	1件	36件

##### (イ) ボランティア情報提供

通年でボランティア体験が可能な団体・機関の情報提供を行うことで、より身近な場所での地域活動に参加できる体制づくりに努めた。

- ・ボランティア募集、助成金情報、各種研修会等情報提供（随時）
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供（随時更新）
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載
- ・ボランティア体験情報の継続提供

##### (ウ) ボランティアの登録と斡旋

	グループ数（通年）	グループ登録人数（通年）
ボランティアグループ登録団体数・人数	108 団体	2,547 名

	個人ボランティア（通年）
個人ボランティア登録人数	186 名

##### (エ) グループ活動費助成の交付

ボランティアグループの活動育成を図ることを目的として、千葉県共同募金の広域助成である”赤い羽根チャレンジ事業”を活用し助成金の募集を行い、応募団体選考については、選考委員会を開催し、審査のうえ助成金の交付を行った。

助成金交付決定団体 : 52 団体	助成金交付決定額①	1,290,000 円
※助成金交付団体決定内訳	1. 新設団体助成	2 団体 100,000 円
	2. 備品購入助成	0 団体 0 円

	3. 活動助成	50 団体	1,190,000 円
助成金返還団体 : 2 団体	助成金返還金額②		50,000 円
	助成金確定額①-②		1,240,000 円

1. 新設団体助成（令和 6 年度）

No.	グループ名	助成金交付額	返還額	助成金確定額
1	佐倉アルペジオ・ギターサークル	50,000 円	0 円	50,000 円
2	草ぶえの丘「葉音の会」	50,000 円	0 円	50,000 円

2. 活動助成（令和 6 年度）

No.	グループ件数	助成金交付総額	返還額	助成金確定総額
1	50 グループ（下表）	1,190,000 円	50,000 円	1,140,000 円

佐倉市こおろぎの会	佐倉地域文庫連絡会	むぎの会	ボランティアグループありんこ
まあい会	ガールスカウト千葉県第84団	ふきのとう	手話サークル「希望」
虹の会	さくらネイチャーゲームの会	ふれあいいきいきサロン白銀	印旛沼広域環境研究会
西志津四季の会	手話サークルコアラの会	カレッジ園芸	ひの木太鼓
朗読サロン「こおろぎの輪」	花工房リーバ	ミュージックバル・歌あそび	草笛&リーフル「ハッピー〇はっば」
手話ダンスロード	高齢者いきいきクラブ「コケッコ村」	チーム麦畑	元気シルバー応援隊
ねっこの会	笑いヨガ・ミュージック	296アイアイ会	さくら輪の会
届けよう笑顔を！「ニコニコ合衆国」23	ユートピア時崎弁天	花の散歩道	佐倉路地裏探検隊
かぐや姫	青い鳥の会	アロハ・ア・ナニ	佐っちゃん・倉くん応援隊25
キャロット白銀	影絵塾 9	NOUT(ノーツ)	NPO 法人 さくらの咲く丘
歌声の広場	NPO 法人 子どものまち	つながりネット印旛	印旛沼探検隊
子育てネットワーク佐倉子育て応援団	パン田の会	しづ食堂	佐倉シニアアンサンブルかなで
あさぎ公園ボランティアの会	佐倉楽友協会		

(オ) ボランティアセンター運営委員会の開催

第 1 回

月 日	令和 6 年 6 月 5 日
場 所	社会福祉センター 2 階会議室
報 告	①前回会議要録について ②ボランティアセンター運営委員の役割について ③令和 5 年度ボランティアセンター関連事業報告について ④令和 6 年度ボランティアセンター事業計画と行事・イベントについて ⑤令和 6 年度登録状況について ⑥各ボランティアセンターの相談状況について

	⑦ボランティア団体の活動取材について
協 議	①委員長・副委員長の選出について ②高齢になってもボランティア活動を続けていくには
運営委員	11名（欠席0名）

第2回

月 日	令和6年10月24日
場 所	佐倉市社会福祉センター2階会議室
報 告	①前回会議要録について ②令和6年度ボランティア活動助成金の助成団体と傍聴者について ③福祉教育の活動について ④ボランティア・イベント報告について ⑤各ボランティアセンターの相談状況について
協 議	①ボランティア講座の今後の推進について
運営委員	10名（欠席1名）

第3回

月 日	令和7年3月6日
場 所	佐倉市社会福祉センター2階会議室
報 告	①第2回会議要録について ②福祉教育について ③ボランティア講座・イベント報告について ④各ボランティアセンターの相談状況について
協 議	①ボランティア活動助成対象選考委員会委員の継続について ②ボランティア会議でのご意見について
運営委員	10名（欠席1名）

(カ) ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

月 日	令和6年8月1日
場 所	社会福祉センター2階会議室
内 容	①諮問 ・申請団体（新設団体助成・ボランティア活動助成）の選考について ②議題 <プレゼンテーション> ・新設団体助成の申請について <選考> ・新設団体助成の申請について ・ボランティア活動団体助成の申請について <答申>
委 員	5名（欠席2名）

(キ) ボランティア会議

月 日	令和7年2月16日
場 所	西部地域福祉センター会議室1・2・3
内 容	① 登録更新の手続きについて ・令和6年度活動報告書・決算書について ・令和7年度登録更新について ・ボランティア活動保険について ・令和7年度ボランティア活動助成金について ②ありがとうメッセージについて ③佐倉市ボランティア連絡協議会より ④情報交換会 ・ボランティアセンターへのご要望・ご意見等
参加者	52名

(ク) 佐倉市民カレッジさくら

月 日	令和6年6月26日
場 所	佐倉市中央公民館
内 容	テーマ「佐倉市の地域福祉」 ・「地域福祉」とは ・社会福祉法について ・社会福祉協議会について ・ボランティアについて ・グループワーク 事例検討「こんな人が近所にいたら…？」
受講生	50名

(ケ) 市民公益活動サポートセンター主催事業

月 日	令和6年7月23日
場 所	佐倉市志津公民館
内 容	テーマ：ボランティア活動を始める前に知っておきたいこと ・社会福祉協議会（社協）・ボランティアセンターの紹介 ・ボランティア活動とは・4つの原則・心がまえ など ・ボランティア活動をこれからするために ・グループワーク 事例検討「こんな人が近所にいたら…？」
参加者	12名

(コ) 介護予防リーダー養成研修におけるボランティア講話

月 日	令和6年5月24日(第1回)
場 所	臼井公民館

内 容	テーマ：佐倉市のボランティア活動について ・社会福祉協議会（社協）・ボランティアセンターの紹介 ・ボランティア活動とは・4つの原則・心がまえ など ・ボランティア活動をこれからするために
参加者	10名
月 日	令和7年1月30日(第2回)
場 所	志津公民館
内 容	テーマ：佐倉市のボランティア活動について ・社会福祉協議会（社協）・ボランティアセンターの紹介 ・ボランティア活動とは・4つの原則・心がまえ など ・ボランティア活動をこれからするために
参加者	15名

#### (サ) ボランティア講座

月 日	令和6年11月1日～11月29日 全5回
場 所	西部地域福祉センター
内 容	テーマ 傾聴に学ぶ 講 師 心のふれあいボランティアひびき 代表 高橋 京子 氏
修了者	31名

#### (2) 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

ボランティア連絡協議会の各種会議や、ボランティアのつどい、機関紙の発行など、活動上の側面支援や運営協力を通じて、ボランティアグループと個人ボランティア同士の繋がりづくりや交流の一助となるよう寄与した。

活動費助成	250,000円 (※令和6年度活動費助成決定額)
活動内容等	①役員会の開催 ②運営委員会の開催 ③広報紙（V連協だより・はらっぱ）の発行 ④ボランティアのつどいの開催 ⑤ボランティアセンター活動 ⑥社会福祉協議会活動への協力（各種委員会委員） ⑦街頭募金活動への協力 など

支援内容等	①役員会への出席・活動支援 ②運営委員会への出席・活動支援 ③広報紙発行に向けた側面支援・連絡調整 ④ボランティアのつどいの開催に向けた側面支援 ⑤ボランティア会議での活動紹介の機会づくり ⑥活動上の相談・支援、施設利用手続き、連絡調整 など
-------	--

### (3) 福祉教育推進事業

未来を担う子どもたちの福祉意識の醸成や高揚を図るために、地区社協、ボランティアグループ、障がい当事者など、多様な市民の協力を得ながら地域ぐるみで福祉教育を実践した。”福祉教育パッケージ指定”の2年目を迎え、地域や学校と連携した福祉教育推進により福祉教育への意識に変化が見られた。また、夏休みボランティア体験や職業体験を通じて、子どもたちの福祉活動への参加機会の一助となる取り組みも実践した。

#### (ア) 福祉学習に関する企画・実践への支援

No.	月日	場所	内容
1	7/9	王子台小学校 (5年生)	①バリア点検（障がい者団体等連絡会の協力） ②白状体験（障がい者団体等連絡会の協力）
2	1/10		①聞こえないことへの理解（聴覚障がい者からの講和） ②手話体験（手話サークル「希望」の協力）
3	2/19		福祉教育成果報告会
4	10/28	佐倉小学校 (5年生)	①車いすの基本的操作と演習（体育館内） ②福祉車両体験
5	10/22	白井西中学校 (1年生)	事前学習 共同募金について（白井地区社会福祉協議会の協力）
6	10/29		事前学習 見えないことについて（佐倉市手をつなぐ育成会の協力）
7	11/5		①見えないことについて（点訳サークル野菊の会の協力） ②聞こえないことについて（佐倉市ろう者協会、手話サークル「希望」の協力） ③共同募金について（白井地区社会福祉協議会の協力） ※グループに分かれてそれぞれ活動を実施
8	12/13		ボランティア報告会
9	7/6		根郷中学校 (2年生)

## 4 企画広報

### (1) 広報啓発事業

社会福祉への理解と参加を促進するため、広報活動を展開し「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を年3回発行した。また、Facebook等のSNSも活用して、社会福祉協議会活動の動向を積極的に発信し、関心と理解並びに協力を得られるように努めた。

#### (ア) 社協さくらの発行

No.	号数	発行年月日	発行部数	折込部数
1	第212号	令和6年7月1日	39,500部	38,200部
2	第213号	令和6年10月1日	38,950部	37,650部
3	第214号	令和7年3月1日	38,950部	37,650部

#### (イ) ホームページ

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>

年度	アクセス数	月平均アクセス数
6	18,535件	1,545件
5	9,931件	828件
4	10,768件	897件

#### (ウ) その他の広報活動

- Facebookへの投稿（フォロワー数1,007名）
- 千葉県社協広報紙「福祉ちば」を関係者に配布
- 14地区社協の広報誌を受付所付近に掲示
- 佐倉・産業大博覧会2024での広報活動(チラシ500部配布)

## 5 善意銀行

市民、団体、企業等より金銭、食品、物品の寄付を受け、生活困窮世帯等へ還元することが出来ている。食品、物品については、生活困窮世帯や市内子ども食堂、学習支援団体、福祉施設、福祉活動団体等への支援に活用している。

### (1) 金銭、物品の預託、払い出し

	種 類	件 数	金 額	令和 5 年度実績	
				件数	金額
預 託	一般預託	6 件	188,584 円	14 件	5,293,137 円
	指定預託	23 件	1,198,531 円	10 件	591,731 円
	合 計	29 件	1,387,115 円	24 件	5,884,868 円
払 出	災害見舞金	7 件	130,000 円	2 件	40,000 円
	帰宅旅費	12 件	4,500 円	13 件	5,640 円
	指定払出	22 件	1,148,531 円	10 件	591,731 円
	合 計	41 件	1,283,031 円	25 件	637,371 円

預 託	食品	409 件
	その他	74 件
	合 計	483 件
払 出	食品	658 件
	その他	77 件
	合 計	735 件

### (2) 小口貸付事業

	種 類	件 数	金 額	前年度実績	
				件数	金額
貸 付	生活保護世帯	98 件	3,680,000 円	71 件	2,705,000 円
	生活保護申請世帯	5 件	190,000 円	5 件	145,000 円
	その他世帯	37 件	1,400,000 円	29 件	1,105,000 円
	合 計	140 件	5,270,000 円	105 件	3,955,000 円
償 還	償還額		4,213,805 円		3,553,195 円
相 談	件数	1,809 件			

### (3) 「フードドライブ」活動へ協力（フードバンクちば主催）

第 36 回	(5/20~6/28)	45 件	540 kg
第 37 回	(9/17~10/31)	47 件	811 kg
第 38 回	(1/20~2/28)	57 件	405 kg

## 6 在宅福祉事業

家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

### (1) ふれあい・いきいきサロン

グループ名	実施回数	延利用者数
ふれあいいきいきサロン白銀	19回	21人

### (2) ふれあい型食事サービス

グループ名	実施日	対象者数
ふきのとう	毎月第1金曜日	555人
むぎの会	毎月第2火曜日	565人
虹の会	毎月第2金曜日	446人
キャロット白銀	毎月第2木曜日	103人
合 計		1,669人

### 食事サービスグループ懇談会

月 日	令和7年1月28日
内 容	食事サービスグループ、佐倉市地域包括支援センターとの懇談会
参加者	8名

### (3) おもちゃ図書館

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館日					
開館回数	12回	12回	12回	12回	48回
利用者数	84人	80人	118人	388人	670人
(うち障がい児数)	0人	0人	2人	146人	148人
貸出点数	58点	37点	69点	52点	216点
ボランティア数	54人	35人	43人	53人	185人
修理ボランティア数	8人	0人	12人	11人	31人

会議・研修の参加 10回・23人

(全体ミーティング、クリスマス会打ち合わせ、県連絡会、全国連絡会)

#### (4) 車イス貸出事業

市内在住の高齢者・傷病者等の外出や日常生活を支援するために車いすの無料貸出を行った。また、小中学校での福祉教育などの教材としての貸出も行った。

西部地域福祉センター（10台保有）、南部地域福祉センター（7台保有）及び市内20か所の各郵便局に1台配置し、市民の利便性の向上に努めた。

ホームページを見てのお問い合わせや、地域包括支援センターからの紹介による問い合わせに適宜対応した。

区分別利用台数

(単位：件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
郵便局	16	10	9	11	13	12	15	19	22	12	14	10	163
西部	10	16	16	9	14	11	15	13	18	11	10	21	164
南部	7	11	7	7	7	7	11	7	6	3	6	8	87
合計	33	37	32	27	34	30	41	39	46	26	30	39	414

※（西部：西部地域福祉センター 南部：南部地域福祉センター）

#### (5) 菊地久治奨学福祉事業

市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学福祉事業を実施。令和7年度奨学生について、大学進学者、大学在学者の両方を対象に6～8月に募集、9月に第一次選考、10月に第二次選考をおこない、大学進学者2名を決定した。また、在籍奨学生の育成支援として、成績報告会や合同研修を実施する他、学業・生活等の個別の相談やボランティア活動の紹介を行った。

##### (ア) 勉学奨励奨学金 交付件数・金額（内訳）

年度	在学生	進学決定者	合計	交付額計
令和6年度	4人	2人	6人	3,544,390円
令和5年度	6人	1人	7人	3,821,560円
令和4年度	8人	1人	9人	8,074,490円

※進学決定者は、その年度において、大学進学者向け募集で決定した者

※交付額は、在学生の当該年度学校納入額+進学決定者の入学時納入金額の合計（令和2年度より国の奨学金制度による授業料免除が導入され、年度をまたいだ返還があり、年度の支出額と差異がでる場合がある）

(イ) 卒業生・その他(辞退等)

年 度	人 数	年 度	人 数
令和 6 年度	0 名	平成 29 年度	1 名
令和 5 年度	3 名	平成 28 年度	2 名
令和 4 年度	4 名	平成 27 年度	5 名
令和 3 年度	0 名	平成 26 年度	2 名
令和 2 年度	0 名	平成 25 年度	2 名(うち辞退 1 名)
令和元年度	5 名	平成 24 年度	1 名
平成 30 年度	4 名	計	29 名(うち辞退 1 名)

※ 平成 29 年度卒業生は、支給延長により平成 30 年度大学院に入学している。

(ウ) 広報PR・募集活動

令和 7 年度募集に関して、県内高等学校、対象と想定する大学、ホームページ、民生委員児童委員協議会、日本学生支援機構ホームページへ周知依頼を行った。今年度より、募集チラシを新たに作成した。

(エ) 奨学生選考委員会

大学進学希望者

No.	月日	場所	内容	人数
第 1 回	9/21	2 階会議室	・奨学生第一次選考について (書類選考)	委員 5 名
第 2 回	10/14	2 階会議室	・奨学生第二次選考について (面接・選考)	委員 5 名

(オ) 奨学生への支援

月次報告の他、随時奨学生と連絡し、生活面・家庭面・学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い、奨学生への支援を行った。また、奨学生へ佐倉市内での社会奉仕活動についての情報を伝え、活動を支援した。

(カ) 研修

奨学生が地域の活動や課題に触れ、学ぶ機会を通して、自ら意欲的に社会貢献できる人材を育成すること、また、奨学生同士の交流を通して互いに切磋琢磨しながら成長できることを目的に、奨学生の合同研修を年 2 回実施した。

#### 夏期研修

月日	場所	内容	奨学生
11/16	ユーカリが丘南公園	第4回「笑顔deつながる ふくしフェスタ」に社協ブースとして出店し、ブースの企画・準備・当日運営を行った。	3名

#### 冬期研修

月日	場所	内容	奨学生
2/27 ~3/1	穴水町、能登町	能登半島地震の被災地に行き、現地の社協の方の講話や現地視察を行った。また、災害ボランティアとして参加し、地元の方との交流も行った。	3名

#### (キ) 生活状況報告会

奨学生より学校生活・学業成績・社会奉仕活動状況の報告を受け、次期に取り組む活動の課題と目標を整理して奨学生の一層の資質の向上につなげることを目的として成績報告会を2回開催した。

月日	場所	内容
9/21	2階会議室	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての個別面談
3/15	2階会議室	・奨学生の後期学業成績 ・生活状況についての報告

#### (ク) 勉学奨励一時金実施内容

令和6年度に生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して入学時に勉学奨励一時金を交付した。

#### 勉学奨励一時金 交付件数・金額（内訳）

年度	高等学校	専門学校	短期大学	大学	その他	合計	交付額
令和6年度	1名	3名	0名	1名	0名	5名	150,000円
令和5年度	1名	3名	0名	5名	0名	9名	310,000円
令和4年度	2名	6名	0名	4名	0名	12名	380,000円

## (6) 法人後見事業

福祉サービス利用援助事業で培った高齢者や障害のある人への支援のノウハウや、地域の様々な関係機関との連携による活動に加え、本会が行う法人後見事業の特徴である長期的・組織的な支援を実施した。身上保護や財産管理といった後見事務について、障がい特性をはじめとした個別性に配慮しながら、被後見人等の権利擁護を実践した。また、意思決定支援踏まえた後見事務を目指し、本人を中心とした連携の在り方を検討した。

### (ア) 成年後見制度に関する広報・啓発活動

#### (イ) 成年後見制度に関する相談業務

※ ア・イについては、成年後見支援センター事業にて報告。

#### (ウ) 成年後見人等の受任の可否に係る弁護士、司法書士との協議

##### 第1回受任可否会議

月 日 : 令和6年9月10日  
場 所 : 社会福祉センター会長室  
参 加 : 弁護士・司法書士  
内 容 : 後見類型 2案件

##### 第2回受任可否会議

月 日 : 令和6年11月6日  
場 所 : 社会福祉センター会長室  
参 加 : 弁護士・司法書士  
内 容 : 後見類型 2案件、保佐類型 1案件

### (エ) 後見業務（被後見人等の身上保護及び財産管理）

(令和6年4月～令和7年3月末)

No.	被後見人等	類型	生活形態	審判確定日	支援回数
1	知的・男性 61歳	保佐	GH	平成24年11月13日	185回
2	精神・女性 60歳	後見	精神病院	平成24年12月8日	45回
3	精神・男性 59歳	保佐	在宅	平成26年6月3日	64回
4	精神・男性 75歳	後見	特養	令和3年9月14日	44回
5	女性 98歳	後見	特養	平成29年6月14日	32回
6	知的・男性 54歳	保佐	在宅	平成29年11月29日	113回
7	女性 91歳	後見	特養	平成30年6月7日	59回
8	精神・女性 64歳	後見	特養	平成30年12月28日	39回

9	女性 93歳	後見	有料	平成31年3月5日 (年度途中で逝去)	26回
10	精神・男性 44歳	保佐	在宅	令和2年12月22日	108回
11	身体・女性 82歳	後見	療養型病院	令和3年9月9日 (年度途中で逝去)	29回
12	女性 89歳	保佐	老健	令和3年9月29日	53回
13	知的・女性 63歳	後見	障害者支援施設	平成19年8月28日	44回
14	障害・女性 62歳	後見	精神病院	令和6年10月3日	32回
15	女性 94歳	後見	GH	令和6年11月21日	37回
16	障害・男性 54歳	後見	在宅	令和6年12月9日	25回
17	女性 83歳	保佐	サ高住	令和6年12月19日	12回

※ 65歳以上は高齢者にも該当

(オ) 監督業務（成年後見人の交代案件）

（令和6年4月～令和7年3月末）

No.	被後見人等	類型	生活形態	選任の確定日	後見人等
1	女性 82歳	後見	特養	令和3年6月22日	※1
2	女性 90歳	後見	特養	令和6年5月17日	※2

※1 NPO法人佐倉市民後見人協会

※2 市民後見人（複数後見を経て令和6年5月～社会福祉協議会が監督人）

(カ) 後見業務における弁護士、司法書士等の専門家との連携

- ・必要に応じて弁護士相談や専門相談（成年後見支援センター）、および電話対応を実施

(キ) 関係機関との連携

- ・銀行や郵便局といった金融機関との関わり
- ・家庭裁判所との関わり
- ・佐倉市役所関係各課との関わり（健康保険課・高齢者福祉課・障害福祉課・社会福祉課等）
- ・被後見人等の親族との関わり
- ・福祉関係機関（福祉施設、地域包括支援センター、相談支援事業所、在宅福祉サービス事業所等）との関わり
- ・病院をはじめとした保健・医療機関との関わり
- ・弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職及び職能団体との関わり
- ・NPO法人佐倉市民後見人協会との関わり

## (7) 移動サービス事業

電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して一人で外出することが困難な高齢者や障がい者等が、通院、福祉サービスの利用や趣味などの社会参加を図るため、市民相互による支え合い事業として移動サービス事業を実施した。ケース会議を月2回開催し利用会員の運行上ケースの情報共有、サービス提供のコーディネートを行い事業を実施した。事業終了にあたり、利用会員・利用会員家族・関係機関への周知並びに他事業所の紹介等の調整を行った。

### (ア)会員の状況

会員種別	令和6年度	令和5年度	令和4年度
利用会員 (メンバー)	35名 介護認定27人、 障がい者16人、 その他3人(重複あり)	46名 介護認定38人、 障がい者17人、 その他3人(重複あり)	48名 介護認定39人、 障がい者19人、 その他3人(重複あり)
協力会員	10名	19名	15名
後援会員 (スポンサー)	3件 8,000円	8件 17,000円	10件 22,000円

### (イ)利用目的別回数

年度	通院	送迎	趣味	買物	その他	合計
令和6年度	233人	61人	0人	52人	22人	368回
令和5年度	495人	65人	10人	89人	19人	678回
令和4年度	465人	16人	3人	67人	14人	565回

### (ウ)運行実績

年度	稼働日	回数	活動距離数	活動時間数	車両数
令和6年度	143日	368回	2,943.00km	498時間49分	4台
令和5年度	209日	678回	4,605.00km	796時間27分	4台
令和4年度	184日	565回	3,975.00km	626時間54分	4台

※ 令和3年度より(回数)集計方法を法人主体の移動サービス事業補助金報告に合わせた

※ 令和6年度は1月末でサービス提供終了のため、4月から1月までの10か月間の集計

### (エ)移動サービスコーディネーター会議

毎月2回、コーディネーターと職員が集まりケースの報告・検討、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い日常的運行の円滑化を図った。 ※ 今年度は、計20回開催した。

### **(8) 生活困窮世帯子ども支援事業**

元気に育て子ども基金を活用し、生活困窮により子どもの生活に支障をきたしている状況を改善し、子どもの健やかな成長を支援する。経済的な困窮以外にも生活の困難さを抱えている世帯も多く、行政等の関係機関と連携し相談支援を行った。

1. 支援金交付 1件 36,730円 (高等学校通学定期代)

### **(9) 終末ケア・終活支援事業**

エンディングノート 「心の遺言ノート」 の告知をホームページや各種会議で行い、関係機関へ宣伝して10部を販売した。また、福祉功労者表彰式において、表彰者へ記念品として配布した。

## 7 福祉総合相談事業

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、相談に応じ、相談者ごとの諸問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力を行った。相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに、内容によっては法律相談などの専門相談や関係機関へ結ぶなどの対応を行った。また、相談員のスキルアップを目的として、佐倉市市民相談員との合同研修会を2回開催した。

### (ア)設置状況

区分	開設場所		開設日	開設時間
心配ごと相談	佐倉	社会福祉センター	毎週月曜日	10:00～15:00
	志津	西部地域福祉センター	第1・3水曜日	10:00～15:00
	根郷	南部地域福祉センター	第2・4金曜日	10:00～15:00
法律相談	社会福祉センター		毎月第4月曜日	10:00～15:00
ボランティア相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

### (イ)福祉総合相談所相談状況

(単位:件)

区分	相談件数(件)			内容件数(件)		
	6年度	5年度	4年度	6年度	5年度	4年度
心配ごと相談(佐倉)	24	49	36	27	56	38
〃(志津)	17	16	23	18	17	24
〃(根郷)	6	10	12	6	14	12
法律相談	49	61	90	72	69	118
介護生活相談			24			24
ボランティア相談	378	261	324	378	261	324
合計	474	397	509	501	417	540

### (ウ)内容件数内訳(心配ごと相談・法律相談)

(単位:件)

No.	区分	心配ごと			法律	合計
		佐倉	志津	根郷	佐倉	
1	年金	0	0	0	1	1
2	生計	0	3	0	0	3
3	職業・生業	0	0	0	0	0
4	住宅	0	0	0	1	1
5	家族	8	4	1	1	14

6	DV問題	0	0	0	0	0
7	結 婚	0	0	0	1	0
8	離 婚	0	0	0	0	0
9	健康・衛生	3	1	0	0	4
10	医 療	1	1	0	0	2
11	精神保健福祉	1	0	0	33	32
12	人権・法律	2	0	1	32	32
13	財 産	3	5	2	0	9
14	事 故	1	0	0	0	1
15	児童・母子保健	0	0	0	0	0
16	教育・青少年	0	0	0	0	0
17	心身障がい者福祉	0	0	0	0	0
18	母子・父子福祉	0	0	0	0	0
19	高齢者福祉	2	0	1	1	3
20	苦 情	0	0	0	0	0
21	ボランティア	0	0	0	1	1
22	近 隣	3	0	2	0	3
23	その他	3	4	0	0	6
24	ひきこもり	0	0	0	0	0
合 計		27	18	6	72	123

(エ)会議及び研修

①市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

月 日	令和6年8月28日
場 所	社会福祉センター3階中会議室
内 容	テーマ「障害者に関わる相談について」 講 師 佐倉市障害者福祉課 長谷川 佳澄 氏
人 数	18名
月 日	令和7年2月21日
場 所	社会福祉センター3階中会議室
内 容	テーマ「生活困窮者自立支援事業について」 講 師 暮らしサポートセンター佐倉 岡本 祥子、芳野 貴子
人 数	19名

② 心配ごと相談員会議

月 日	令和6年8月28日
場 所	社会福祉センター2階会議室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心配ごと相談事業の概要・近年の心配ごと相談・法律相談の状況について</li> <li>・ 下半期の研・修内容について</li> <li>・ 当番表の編成に向けた日程調整について</li> </ul>
人 数	8名
月 日	令和7年2月21日
場 所	佐倉市役所4号館地下 マイナンバーカード交付会場隣室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年の心配ごと相談の状況について</li> <li>・ 各センター（西部、佐倉、南部）の相談体制について</li> <li>・ 印旛ブロック市町社会福祉協議会相談事業運営研究協議会の開催について</li> <li>・ 今後の相談事業の在り方について</li> <li>・ 相談当番の依頼について</li> </ul>
人 数	10名

## 8 受託事業

### (1) 声の広報等発行事業

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を市民ボランティアの協力を得て、音声や点字に変換し情報提供を行った。また、点訳・音訳活動ボランティアや障がい当事者の協力を受け小学校での福祉教育を開催し、障がい者理解の一助に繋げた。

#### 【音訳】

発行広報	活動回数	送付した数	ボランティア数
こうほう佐倉	24回	553名／延べ人数	112名
(こうほう佐倉以外の特集号) 福祉特集(7月) 防災特集(9月) 佐倉市決算(11月) 確定申告(2月・3月)	3回	72名／延べ人数	17名
社協さくら(7月・10月・3月)	3回	66名／延べ人数	13名
月刊こおろぎ	8回	175名／延べ人数	39名
風媒花	1回	21名／延べ人数	5名
健康カレンダー(4月)	1回	23名／延べ人数	8名
ゴミカレンダー(4月)	1回	23名／延べ人数	8名
佐倉市議会だより	4回	88名／延べ人数	18名
佐倉市視覚障害者福祉協会創立80周年記念誌	1回	23名／延べ人数	5名
手をつなぐさくら18年の軌跡	1回	23名／延べ人数	5名
計	31回	1,067名／延べ人数	230名

#### 【点訳】

発行広報・書類	活動回数	送付した数	ボランティア数
野菊通信	9回	112名／延べ人数	45名
盲学校/盲学校PTAからの依頼	4回		11名
佐倉南図書館からの依頼	1回		9名
福祉教育講話用資料作成	1回		1名
計	15回	112名／延べ人数	66名

※ この他「勉強会」を5回開催しました。

## (2) 障害者作品展の開催

美術館に展示した作品を通して、障がい者の個性と能力の発揮や社会参加の機会を図ること、作品を通じて多くの方が障がいについて知り、理解する機会ができた。また、障がい当事者、福祉施設、地区社協、ボランティアからなる実行委員会を組織し、様々な立場の視点を効果的に活かしながら、企画・運営が出来た。

### ○第14回 障害者作品展 『ふれあいギャラリー』

- ・日 時 令和6年12月12日～15日 午前10時30分～午後6時  
(12日 午後1時開始 15日は午後3時終了)
- ・場 所 佐倉市立美術館3階市民ギャラリー
- ・出展数 延べ261名(個人19名、27団体242名)
- ・作品数 合計167点
- ・来場者 合計623名
- ・実行委員会 4回(8/8・9/24・11/26・1/21) 実行委員 延べ33名

## (3) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して、資金の貸付と民生委員及び社会福祉協議会等が必要な相談支援を行うことによって、その世帯の経済的な自立と生活の安定を図ることを目的として実施した。コロナウイルスの影響による特例貸付の償還について、経済的な自立が継続して困難な状況であったり、新たな課題が浮彫になった世帯も多くあり、生活困窮者自立支援窓口や地域担当部署、行政等と連携をしながら相談支援を行った。

### (ア)生活福祉資金貸付

区分	令和6年度		令和5年度	
緊急小口資金	59件	3,145,000円	47件	2,540,000円
教育支援資金	6件	6,871,200円	17件	10,128,000円
福祉資金	0件	0円	3件	2,062,600円
総合支援資金	0件	0円	0件	0円
不動産担保型生活資金	0件	0円	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	0件	0円
合 計	65件	10,016,200円	67件	14,730,600円

(イ)貸付関係相談件数(延べ) 1,137件 (前年度796件)

#### (4) 日常生活自立支援事業（通称:すまいる）

認知症、知的障がい、精神障害などにより判断能力が十分でない方を対象に、住み慣れた地域で安心した生活を送ることが出来るよう、福祉サービスの利用援助を基本に日常的な金銭管理などを行った。本事業の対象者が抱える問題が複雑化する傾向にあり、関係機関との連携が不可欠となっている。判断能力の低下等の状況に応じて「佐倉市成年後見支援センター」や専門家らと情報提供を密にし、次の支援へスムーズに移行できるように努めた。

##### (ア) 実施状況

年度	利用者数	生活支援員数	契約者数	解約者数	契約締結審査 会承認件数	県社協事務局 審査承認数
6年度	97人	31人	23人	23人	10人	13人
5年度	98人	31人	18人	16人	6人	14人

年度	月1回	月2回	週1回	その他	合計
6年度	60人	21人	4人	12人	97人
5年度	65人	19人	3人	11人	98人

年度	福祉サービス利用援助	財産管理サービス	財産保全サービス
6年度	97人	97人	8人
5年度	98人	98人	7人

年度	高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
契約ケース	61件	11件	31件	13件	116件
解約ケース	12件	0件	4件	0件	16件

※ 重複あり

##### (イ) 契約締結審査会

(単位：件)

	4/23	5/21	6/18	7/23	8/20	9/17	10/22	11/19	12/17	1/21	2/18	3/18
新規	1	0	1	1	2	0	0	2	3	0	0	0
評価	9	7	6	5	4	7	5	10	5	5	11	9
解約	3	1	2	2	2	3	1	1	2	5	1	1
変更	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1
合計	14	8	10	9	10	10	6	13	10	10	12	11

(ウ) 連絡会議（千葉県社会福祉協議会主催）

① 第1回 日常生活自立支援事業連絡会議【Web開催】

月日	令和6年11月12日
出席者	専門員5名
内容	① 令和7年度市町村社協への委託費の算定方法について ② 令和7年度以降の契約締結審査会のあり方について ③ 事業実施上の留意点、課題について

② 第2回 日常生活自立支援事業連絡会議【Web開催】

月日	令和7年2月28日
出席者	専門員6名
内容	① 令和7年度事業業務委託費（案）について ② 令和7年度以降の生活支援員養成研修について ③ 弁護士・司法書士・社会福祉士紹介サービス事業の廃止について ④ 専門員業務マニュアル改訂について ⑤ 今後のスケジュールについて ⑥ 令和7年度市町村社協への委託費の算定方法について

(エ) 生活支援員研修

月日	令和6年4月22日
場所	地下研修室
出席者	生活支援員30名
内容	テーマ 記録の重要性について ～より良い実践に向けて～

月日	令和6年11月25日
場所	地下研修室
出席者	生活支援員31名
内容	テーマ 佐倉市社協が取り組む地域福祉の推進 生活支援員同士の情報交換

(オ) その他研修等（千葉県社会福祉協議会主催）

① 令和6年度 日常生活自立支援事業に係る新任専門員研修会【参集開催】

月日	令和6年5月8日
場所	千葉県社会福祉センター3階 大会議室
出席者	専門員1名

内 容	基調講義 ・日常生活自立支援事業の意義と専門員に求められる対人援助の基礎知識 事業説明 ・日常生活自立支援事業の運営について・マニュアルの解説
-----	--

② 令和6年度 現任・登録生活支援員等研修会【Web開催】

月 日	令和6年12月2日
出席者	専門員6名
内 容	基調講義・成年後見制度利用促進の現状と支援者の視点 意見交換・利用者との信頼関係を築く上で大切にしていること ・支援の中で困っていること、悩んでいること

③ 令和6年度 法人後見専門員研修会【Web開催】

開催日	令和7年3月10日
出席者	専門員6名
内 容	基調講義・法人後見に求められること 意見交換・法人後見における責務と担い手に求められる資質とは何か

## (5)成年後見支援センター

令和2年より、成年後見支援センターを機能強化した中核機関として引き続き本会が氏より受託。パンフレットやホームページ等の活用に加え市民向け講演会や各種研修会への参加による成年後見制度の更なる周知と啓発、制度利用の相談及び申し立て支援、後見人支援、地域連携ネットワークへの参加促進を図った。

### 1. 成年後見制度の周知及び啓発

- (1) 成年後見制度等についての情報（広報紙、情報誌、パンフレット等）をセンターに常備し、来談者並びに市民等へ配布
- (2) 講演会の実施
- (3) ホームページの管理運営
- (4) 関係機関への広報啓発、地域連携ネットワークへの参加促進
- (5) 地域連携ネットワークへの新規参加者の発掘
- (6) 地域連携ネットワーク構成員に対する研修
- (7) 成年後見制度利用促進基本計画に関する佐倉市の取組への協力
- (8) 佐倉市と成年後見制度利用促進基本計画に沿った協議・企画立案会議の開催

### (ア)成年後見制度講演会

月 日	令和6年9月29日
場 所	イオンタウンユーカリが丘イオンタウンホール
参加者	52名
内 容	あなたの財産、どうしますか？ ～成年後見制度と家族信託～
講 師	司法書士 菊地 裕文 氏

### (イ)地域連携ネットワークづくりのための研修会

月 日	令和7年2月27日
場 所	南部地域福祉センターB棟研修室
参加者	福祉関係者 15名 (ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員、医療相談員等)
内 容	「専門職に学ぶ、支援者のための成年後見制度」
講 師	司法書士 菊地 裕文 氏

### (ウ)成年後見制度利用促進基本計画に沿った協議・企画立案会議

佐倉市成年後見制度利用促進に向けての企画・立案会議（年12回定期開催）

### 2. 相談業務

- (1) 成年後見制度に関する情報提供（来所及び出張による相談）

- (2) 成年後見人の業務、活動の概要説明
- (3) 専門機関等の紹介
- (4) 家庭裁判所への申立書類の作成支援
- (5) 権利擁護支援の必要性、成年後見制度・サービス等利用の検討  
(アセスメント・スクリーニングの実施)
- (6) 成年後見制度以外のサービス等との連携及び繋ぎ
- (7) 権利擁護支援が必要なケース会議等への参加
- (8) 必要に応じて、専門職等を交えた支援方針等についての事例検討の開催
- (9) 相談を受けた際、その背景、主旨、対応等を相談カードに記録し、保管する

(ア)受任調整会議及び課題解決後についてのケース検討

第1回	令和6年5月10日	10人	受任調整：5ケース
第2回	令和6年8月9日	8人	受任調整：2ケース
第3回	令和6年11月15日	9人	受任調整：3ケース
第4回	令和7年2月14日	8人	受任調整：5ケース

(イ)事例検討、相談対応・スクリーニングの実施

第1回	令和6年8月9日	9人	2事例
第2回	令和7年2月14日	11人	2事例

(ウ)地域連携ネットワーク協議会

第1回	令和6年5月10日	21人	事例検討
第2回	令和6年11月15日	20人	ケース検討

(エ)成年後見制度出張説明会

- 月 日 : 令和6年
- 参加者 : 20名 (一般12名ボランティア8名)
- 場 所 : 佐倉市白井・千代田地域包括支援センター介護者教室
- 内 容 : 「もしもの時の財産管理 ～任意後見制度について～」

(オ)専門相談、一般相談件数 (内訳は別紙参照)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専門相談	—	5	6	5	4	5	6	6	6	3	4	6	56
一般相談	17	32	47	33	31	33	35	12	31	24	24	35	354
月別集計	17	37	53	38	35	38	41	18	37	27	28	41	410

### 3. 成年後見人等の支援

- (1) 成年後見人等からの相談対応
- (2) 成年後見人等と本人の身近な親族、福祉、医療、地域などの支援チーム編成支援
- (3) 成年後見人等の支援のために専門的知見が必要である場合、本人が専門職等から相談支援等の協力を得られるための支援
- (4) 成年後見人等に対する成年後見事務の支援や助言、地域情報の提供
- (5) 支援体制の変更が望ましいと考えられる際の、地域包括支援センターや関係者等との相談対応及び連携
- (6) 新たな成年後見人等候補者の推薦等を含めた、家庭裁判所との相談・連携

### 4. 市民後見人の支援及び活用業務

- (1) 佐倉市市民後見人名簿の登録及び管理
- (2) 市民後見人名簿登録者スキルアップ研修

No.	月日	研修内容	人数
1	令和6年4月22日	「記録の重要性について～より良い実践に向けて～ 講師：社会福祉士 秦野 隆治 氏	26名
2	令和6年10月28日	「本人を主体とした対人援助の実践 ～意思決定支援に焦点を当てて～」 講師：社会福祉士 古澤 肇 氏	28名
3	令和7年2月17日	市民後見人養成講座修了生の活躍の場について	24名

- (3) 佐倉市市民後見人名簿登録者の成年後見に関する活動状況の調査と継続掲載の意向確認（年1回）
- (4) 佐倉市市民後見人名簿登録者または市民後見人養成講座修了生から名簿に関する書類の提出を受け付け、佐倉市への提出
- (5) 佐倉市市民後見人名簿登録者へ随時の成年後見制度に関する情報提供
- (6) 市民後見人選任に関し、佐倉市への市民後見人養成講座修了生の情報提供や受任調整会議への出席等についての協力、佐倉市や家庭裁判所から推薦依頼があった場合の面接選考等の実施と推薦者の選定
- (7) 市民後見人の選任や効果的な活用について家庭裁判所と調整、協議を行う
- (8) 実務相談等の市民後見人の後見等活動支援
- (9) 市民後見人養成講座の実施 ※ 今年度は実施予定なし

### 5. その他

- ① 佐倉市障害者総合支援協議会啓発権利擁護部会（5/27、7/29、9/30、11/25、1/27）
- ② 認知症対策検討委員会（7/8、12/23、2/3 欠席）
- ③ 相談支援事業所との事例検討会（5/30、7/25、9/26 欠席、11/28、1/30）
- ④ 成年後見制度利用促進地区別（印旛地区）意見交換会（10/30）

## (6) 生活困窮者自立支援事業

従来の自立相談支援、家計改善支援、就労支援、就労準備支援、学習支援に加え、2名の地域福祉コーディネーターを設置し、訪問型の相談支援と地域づくり事業を行った。地域福祉コーディネーターのアウトリーチ機能により、昨年度と比べ大幅に増加した。また、地域づくり事業では、住民福祉懇談会や研修会を5回開催し、地域住民同士が互いに気にかけて、孤立孤独を防ぐ話し合いを実施できた。加えて市内の企業に向けて、就労支援での連携と就労先開拓に繋がった。

### (ア) 相談ならびに支援状況

区 分		件 数	備 考
相談支援対応件数（延べ）		6,506件	
うち	ひきこもり相談支援対応	1,313件	
うち	住居確保給付金	96件	新規申請者4名
新規相談受付件数		568件	
うち	ひきこもり相談支援新規受付	39件	
うち	住居確保給付金新規受付	26件	
支援決定（確認）件数（新規）		137件	新規（うち緊急支援54件）
支援決定（確認）件数（再プラン）		121件	
支援終了件数		126件	
支援継続件数		55件	
自立相談支援（新規+再プラン）		258件	
内訳	住居確保給付金	5件	重複あり （新規+再プランケース）
	家計改善支援	141件	
	就労準備支援	38件	
	認定就労訓練	2件	
自立相談支援事業による就労支援		176件	

アウトリーチ（訪問）件数	1,146件
うち 個別支援件数	711件
うち 地域支援件数	435件

### (イ) 自立支援計画支援調整会議の開催

No.	月日	出席者数	内 容
1	4/18	17人	・新規ケース8件 評価ケース14件
2	5/16	13人	・新規ケース11件 評価ケース17件
3	6/20	18人	・新規ケース12件 評価ケース20件
4	7/18	20人	・新規ケース12件 評価ケース14件

5	8/15	19人	・新規ケース 11件 評価ケース 14件
6	9.19	19人	・新規ケース 11件 評価ケース 25件
7	10/17	17人	・新規ケース 14件 評価ケース 21件
8	11/21	17人	・新規ケース 20件 評価ケース 25件
9	12/19	14人	・新規ケース 13件 評価ケース 27件
10	1/16	19人	・新規ケース 8件 評価ケース 26件
11	2/20	13人	・新規ケース 8件 評価ケース 18件
12	3/19	13人	・新規ケース 9件 評価ケース 26件

※「評価ケース」とは、定期的な支援内容の確認や支援の継続等を検討するケース

### (ウ) 地域づくり事業

#### ①住民福祉懇談会、福祉委員会研修

行事名	月日	場所	内容	参加者
白井地区社協福祉委員研修	6/29	白井公民館	地域福祉コーディネーターについて	70人
中志津自治会生活困窮者自立支援事業セミナー	11/23	中志津自治会	制度周知、質疑応答、意見交換	23人
根郷地区合同住民福祉懇談会	12/22	南部地域福祉センター	制度周知、質疑応答、意見交換	30人
住民福祉懇談会第7回「車座」	2/9	志津公民館	制度周知、質疑応答、意見交換	18人
相談員合同研修会	2/21	市役所会議室	市民相談員及び心配ごと相談員への事業説明と質疑応答	21人
第2回中志津自治会生活困窮者自立支援事業セミナー	3/8	中志津自治会	支援事例の紹介、自治会との連携	30人

#### ②企業開拓

訪問企業	月日	内容
佐倉商工会議所	4/2	制度周知、連携依頼
佐倉第三工業団地連絡会	4/17	制度周知、連携依頼、就労先開拓
中央フーズ株式会社	4/26	制度周知、連携依頼、就労先開拓
佐倉市内郵便局(20か所)	随時	制度周知、連携依頼、情報収集
佐倉工業団地連絡会	5/16	制度周知、連携依頼、就労先開拓
セブンイレブン事業説明	8/8	制度周知、連携依頼、就労先開拓
千成幼稚園	10/29	制度周知、連携依頼、就労先開拓
株式会社常盤植物化学研究所	10/31	制度周知、連携依頼、就労先開拓

佐倉市内 JA 千葉みらい	1/20	制度周知、連携依頼、情報収集
栗山自動車株式会社	2/4	制度周知、連携依頼、就労先開拓
株式会社常磐植物化学研究所	2/7	制度周知、連携依頼、就労先開拓
農業法人松本蓮園	2/10	制度周知、連携依頼、就労先開拓

#### ④ 関係機関との連携

行事名	月日	内容
地域包括支援管理者会議	4/15	制度周知、地域福祉コーディネーターについて、連携依頼
地区社協会長事務局長会議	4/25	制度周知、連携・ひきこもり支援依頼
合同事例検討会	奇数月	相談支援事業所を中心とした事例検討会
支えあいサービスカフェ	7/29	地区社協支えあいサービス懇談会
東邦大学佐倉病院 高度肥満センター	8/19	情報交換会
アフガニスタンの方への支援について	9/17	四街道市くらしサポートセンターみらいと CINGA、研究者との情報交換
アフガニスタンの方への支援について	9/30	四街道市くらしサポートセンターみらいと CINGA、研究者との情報交換
サロン・100 円喫茶・体操教室、居場所に関する事業部等懇談会	1/20	制度周知、連携依頼、情報収集
佐倉市医療的ケア児者の災害対策検討部会	年複数回	会議及び中志津、白銀在住の医ケア児避難訓練
佐倉商工会議所	1/30	制度周知と就労支援の連携依頼、情報収集
佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク会議	2/4	市内活動団体及び隣接市町社協における災害時・復興時の連携について
佐倉市社会福祉施設協議会定例会	3/7	制度周知、連携依頼、情報収集
佐倉市障害者団体等連絡会	3/27	制度周知、質疑応答

※上記①～③の他、各地区社協の理事会、福祉委員会、自治会会議、福祉まつり等行事、サロンへの参加、地区社協拠点への訪問による制度周知と情報収集を随時行っている。

#### (エ) 印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会

<総会>

月日	場所	出席者	内容
7/16	地下研修室	8名	議案第1号 令和5年度事業報告及び決算報告について

			議案第2号 会則の変更について
			議案第3号 令和6年度事業計画及び収支予算について

<研修会>

月日	場所	出席者	内容
10/26	白井市保健福祉センター2階研修室	19名	情報共有会
1/26	四街道市総合福祉センター3階会議室	19名	講義：「外国人支援について学ぶ研修会」 講師：日本国際社会事業団常務理事 石川美絵子氏 (International Social Service Japan - ISSJ)

(オ) 法律相談

No.	月日	場所	相談者	内容
1	5/1	2階相談室	3人	債務整理、財産分与、ハラスメント
2	6/12	西部地域福祉センター相談室	4人	債務整理
3	7/3	2階相談室	2人	債務整理
4	8/7	2階相談室	3人	債務整理、損害賠償支払い
5	9/4	2階相談室	3人	債務整理
6	10/9	南部地域福祉センター相談室	3人	債務整理、成年後見制度
7	10/23	2階相談室	4人	債務整理、入院中の事故
8	11/6	2階相談室	3人	債務整理
9	12/4	2階相談室	4人	立退料、ヤミ金融、家賃滞納
10	1/8	2階相談室	2人	債務整理、損害賠償支払い、不動産売却
11	2/12	西部地域福祉センター相談室	4人	債務整理、損害賠償支払い、不動産売却
12	3/5	2階相談室	2人	債務整理、

(カ) 臨時相談会

No.	月日	場所	相談者	内容
1	6/12	西部地域福祉センター相談室	2人	仕事、息子の賠償金の支払いについて
2	10/9	南部地域福祉センター相談室	1人	ひきこもり
3	2/12	西部地域福祉センター相談室	2人	高齢者の住まいについて、ひきこもり

(キ) 家計セミナー

月日	場所	出席者数	内容
2/21	地下研修室	27名	知っておきたいお金の話 ~皆さん最期は、お一人様~

(ク) 学習・生活支援事業

活動団体数	7団体
-------	-----

活動回数	463 回
児童生徒参加者数(延べ)	4,433 名
ボランティア参加者数(延べ)	2,470 名
学生ボランティア参加者(延べ)	171 名

(ケ)佐倉市内学習支援活動団体懇談会

行事名	月日	出席団体数	内容
第1回学習支援活動団体懇談会	10/22	6 団体 オブザーバー1 団体	学校との連携・学習支援活動団体同士の連携について
第2回学習支援活動団体懇談会	2/5	6 団体 オブザーバー1 団体	周知のためのチラシ・マップについて
学習支援・こども食堂・地域食堂団体合同懇談会	3/4	学習支援関係7 団体 こども食堂・地域食堂関係9 団体	・各団体の強みと弱みを知ろう ・連携できることについて ・次回の合同懇談会で話し合いたいことについて

(コ) 自立相談支援（ひきこもり）

①訪問

80 回	20 ケース	内容:本人及び家族支援、ベジバッグ受け取り 他
------	--------	-------------------------

②外出支援

7 回	4 ケース	内容:栗拾い、秋葉原 他
-----	-------	--------------

⑤ ひきこもり家族の会

No.	月日	場 所	出席者数	内 容
1	6/28	ミレニアムセンター	18 名	講義及びグループワーク
2	2/28	2 階会議室	17 名	千葉済生会習志野病院奥田心理士

(サ) 就労準備プログラム

・実施状況

区分	回数	延べ人数	区分	回数	延べ人数
プログラム	1 回	2 名	ボランティア活動	5 回	6 名
TRPG	2 回	6 名	依頼作業	1 回	1 名
カレー作り	1 回	4 名	白井地区社協畑作業	2 回	2 名
クリスマス会	1 回	3 名	絵画	1 回	1 名
たこ焼き作り	1 回	4 名	外出	3 回	3 名

バウンドテニス	1回	3名	街頭ボランティア	1回	1名
ハンドベル演奏	19回	58名	工作	4回	9名
発表会準備	1回	3名	広報誌作成	1回	3名
ハンドベル発表会	2回	7名	ハンドベル発表会 西部地域福祉センター	2回	8名
ブルーベリー狩り	1回	2名	野菜販売会 西部地域福祉センター	3回	9名
ベジバック	20回	37名	地域イベント参加	2回	2名
ボードゲーム	4回	12名	調理	5回	7名
ポッチャ	2回	5名	買い物	2回	2名
ポテトチップスづくり	1回	3名	畑作業	10回	23名
			開催回数 99回	参加延べ人数 226名	

※ その他、ご相談者の状態に合わせた少人数でのプログラムを不定期に実施している。

#### (シ) 内部研修

No.	月日	場所	出席者数	内容
1	4/23	地下研修室	7人	アウトリーチについて講義、事例検討
2	5/28	地下研修室	9人	倫理綱領、事例検討
3	6/25	2階会議室	10人	スーパービジョンについて、事例検討
4	7/23	地下研修室	11人	事例検討
5	8/21	2階会議室	7人	危機介入について、事例検討
6	9/24	2階会議室	8人	受援力について、事例検討
7	10/22	2階会議室	7人	地域共生社会について、事例検討
8	1/28	2階会議室	8人	地域福祉について、事例検討
9	2/25	2階会議室	8人	地域福祉について、事例検討
10	3/25	地下研修室	9人	今年度の検討事例の結果報告、地域福祉コーディネーターの動きについて

#### (ス) 民生委員児童委員協議会への制度周知

民生児童委員協議会理事会及び各地区定例会にて、地域福祉コーディネーターの活動報告を実施。

#### (セ) 外部会議等参加

No.	月日	参加人数	内 容
1	4/15	10人	地域包括支援センター管理者会議
2	5/10	15人	児童虐待防止ネットワーク実務者会議進行管理会議(子ども家庭課)
3	5/22	11人	相談支援事業所連絡会議
4	6/13	20人	成田・印旛地域生活保護受給者等就労支援促進事業協議会
5	6/24	6人	就労支援機関および自立相談支援機関における中高年者の孤独・孤立予防に係る調査ヒアリング
6	7/26	28人	佐倉市青少年問題協議会
7	8/5	15人	児童虐待防止ネットワーク実務者会議進行管理会議(子ども家庭課)
8	8/9	20人	佐倉市障害者差別解消地域協議会
9	8/20	15人	佐倉南部包括圏域ケア会議
10	8/21	12人	佐倉包括地域ケア圏域推進会議
11	11/14	15人	児童虐待防止ネットワーク実務者会議進行管理会議(子ども家庭課)
12	11/30	14人	志津北部地域包括ケア推進会議
13	12/27	22人	佐倉市青少年問題協議会
14	1/15	11人	佐倉包括地域ケア圏域推進会議
15	2/5	15人	児童虐待防止ネットワーク実務者会議進行管理会議(子ども家庭課)
16	2/20	13人	臼井・千代田圏域地域ケア圏域推進会議
17	3/11	10人	相談支援事業所連絡会議
18	3/17	24人	佐倉市地域ケア推進会議
19	3/24	委員8人	佐倉市地域福祉計画推進委員会

(ソ) 各種研修

月日	研修名	場 所	内 容
6/28	市町村セミナー	地下研修室	ひきこもり支援施策の動向と、ひきこもり状態にある本人及び家族への支援実践について
7/30	外国人支援研修	千葉県弁護士会館	外国人の支援について
9/9	アルコール依存症公開講座	船橋北病院	アルコール依存症について、病院見学
9/10	年金について	地下研修室	国民年金保険料免除の手続き等の説明
9/14	ひきこもり研修	ほっとすぺーす・つき	ひきこもりの理解と支援活動について勉強会
10/8	アルコール依存研修	船橋北病院	アルコール依存症の診断、治療について

10/18	支援ツールセミナー	オンライン	相談支援機関業務支援ツールの使用方法等について
10/26	印旛ネット情報共有会	白井市保健福祉センター	印旛圏域の自立相談支援機関間の情報共有、横のつながりの構築
10/30	包括的な支援体制づくりを学ぶ研修会	千葉県弁護士会館	重層的支援体制整備事業について
11/7	就労支援員・就労準備支援員初任者研修	ライブ配信	就労支援員・就労準備支援事業について
11/29	障害者テクノスクール訓練見学	千葉県立障害者テクノスクール	学校・医療・福祉関係者向け訓練見学
12/2	千葉県生活困窮者自立支援制度人材養成研修	千葉県社会福祉センター会議室	生活困窮者自立支援制度について
12/19 12/20	生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修	ZOOM研修	生活困窮者自立支援制度について
12/24 12/25	生活困窮者自立支援制度人材養成研修初任者研修	全国社会福祉協議会	生活困窮者自立支援制度について
1/14 1/15	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 子どもの学習・生活支援事業支援員初任者研修	ライブ配信	子どもの学習・生活支援事業について
R1/23	外国人支援基礎知識研修	ZOOM研修	外国人支援について
1/26	印旛ネット自立支援セミナー	四街道市総合福祉センター	外国人支援について
1/30	依存症医療研（アルコール健康障害）	船橋北病院	アルコール依存の診断、治療について
2/7	令和6年度テーマ別研修	ZOOM研修	若年層がかかえる課題とその支援
2/15	第15回千葉県生活困窮者自立支援実務者ミーティング	千葉県弁護士会館	分科会（居住支援、家計改善支援、女性・子ども若者支援、主任の悩み、行政担当者の悩み）、法改正について
2/17	総合相談生活支援事例検討会	全社協	支援の基本、地域の中での支援について個別の事例を用いて検討

3/10	生活困窮者自立支援制度支援員のための育ちのガイドブック説明会	ZOOM 会議	ガイドブックの活用方法と構成について
------	--------------------------------	---------	--------------------

(タ) ハローワークの巡回相談(就職支援ナビゲーターによる就労相談) (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	8

※ 場所：くらしサポートセンター佐倉

## (7) 介護人材確保対策事業

高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスを利用できる地域社会を目指し、福祉を担う人材育成を目的に介護職員初任者研修を実施した。受講者 24 名中 5 名が途中辞退となり 19 名が全日程を修了し、介護知識・技術の向上に繋がった。

講座名		月日	時間	所属等	講師
開講式・オリエンテーション			9:00～9:30		
1-1	多様なサービスの理解	10/1	9:30～11:00 11:10～12:40	社会福祉法人誠友会 特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	竹内 淳
1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	10/1	13:40～15:10 15:20～16:50		
2-1	人権と尊厳を支える介護(1)	10/10	9:00～10:30 10:40～12:10	佐倉市社会福祉協議会	杉山美枝子
2-1	人権と尊厳を支える介護(2)	10/10	13:10～14:40 14:50～16:20		
2-2	自立に向けた介護	10/8	9:00～10:30 10:40～12:10	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	小笠原 健
3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	10/8	13:10～14:40	特別養護老人ホーム ゆたか苑	内川 浩明
3-2	介護職の職業倫理		14:50～16:10		
3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	10/15	9:00～10:30	さくら総合発達支援センターホープ	塚本 淳智
3-4	介護職の安全		10:40～12:10		
4-1	介護保険制度	10/3	13:10～14:40	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広

			14:50~16:20		
4-2	医療との連携とリハビリテーション	11/7	9:00~10:30 10:40~12:10	千葉県リハビリテーションセンター	田中 康之
4-3	障害者福祉制度及びその他制度	10/15	13:10~14:40 14:50~16:20	千葉県社会福祉士会	岡本 崇広
5-1	介護におけるコミュニケーション	10/17	9:00~10:30 10:40~12:10	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
5-2	介護におけるチームコミュニケーション	10/17	13:10~14:40 14:50~16:20	社会福祉法人愛光	近藤 美貴
6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	10/22	9:00~10:30 10:40~12:10	佐倉市志津北部地域包括支援センター	梅崎 由貴
6-2	高齢者と健康	10/22	13:10~14:40 14:50~16:20	宍戸内科医院	宍戸 智子
7-1	認知症を取り巻く状況	10/24	9:00~10:30	佐倉市志津南部地域包括支援センター	高橋 一江
7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	10/24	10:40~12:10		
7-3	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	10/24	13:10~14:40	佐倉市佐倉地域包括支援センター	松尾 徳子
7-4	家族への支援	10/24	14:50~16:20		
8-1	障害の基礎的理解	10/29	9:00~10:00		
8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	10/29	10:10~11:10	さくら総合発達支援センターホープ	塚本 淳智
8-3	家族の心理、かかわり支援の理解	10/29	11:20~12:20	障害者相談支援事業所レインボー	新井真由美
9-1	介護の基本的な考え方	10/29	9:00~10:00 10:10~11:10	成田国際専門学校講師	釘地 平子
9-2	介護に関するこころのしくみの基本的理解	10/31	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:10 14:20~15:20	さくら総合発達支援センターホープ	塚本 淳智
9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	11/5	9:00~10:30 10:40~12:10 13:10~14:10 14:20~15:20	宍戸内科医院	宍戸 智子

9-4	生活と家事	11/12	9:00~10:30	成田国際専門学校講師	鈿地 平子
			10:40~12:10		
			13:10~14:40		
			14:50~16:20		
9-5	快適な居住環境整備と介護	11/7	9:00~10:30	千葉県リハビリテーションセンター	田中 康之
			10:40~12:10		
9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11/14	9:00~10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	後田 恵子
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	佐倉市社会福祉協議会	杉山美枝子
			14:50~16:20		
9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(1)	11/19	9:00~10:30	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	特別養護老人ホーム 志津ユーカリ苑	大塚 和紀
			14:50~16:20		
9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	11/21	9:00~10:30	特別養護老人ホーム さくらの丘	村本 二郎
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	特別養護老人ホーム 志津ユーカリ苑	大塚 和紀
			14:50~16:20		
9-8	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11/26	9:00~10:30	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園	安宅 香織
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	佐倉市社会福祉協議会	寺田 清美
			14:50~16:20		
9-9	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11/28	9:00~10:30	特別養護老人ホームさくら苑	飯塚 純子
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	佐倉市社会福祉協議会	杉山美枝子
			14:50~16:20		
9-10	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	12/3	9:00~10:30	特別養護老人ホーム はちす苑	梶 直好
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	佐倉市社会福祉協議会	杉山美枝子
			14:50~16:20		
9-11	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護について	12/5	9:00~10:30	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
			10:40~12:10		
			13:10~14:40	成田国際専門学校講師	鈿地 平子
9-12	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	12/5	14:50~16:20	宍戸内科医院	宍戸 智子

9-13	介護課程の基礎的理解	12/10	9:00~10:00	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
			10:10~11:10		
9-14	総合生活支援技術演習	12/10	11:20~12:20	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
			13:20~14:50	成田国際専門学校講師	鈿地 平子
			15:00~16:30		
	総合生活支援技術演習	12/12	9:00~10:30	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
10:40~12:10			成田国際専門学校講師	鈿地 平子	
13:10~14:40					
			14:50~16:20		
10-1	振り返り	1/21	9:00~10:00	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
			10:10~11:10		
10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1/21	11:20~12:20	ケアプラン・ボンド	高梨子淳一
			13:20~14:20		
	効果測定	1/23	14:30~15:30 9:00~12:10	成田国際専門学校講師	鈿地 平子
	閉講式（修了証書授与等） 市内社会福祉施設就職説明会	1/30	10:00~12:00		

※ 授業時間数 132 時間 (会場：佐倉市社会福祉センター地下研修室)

## 9 基金

自主財源の確保を目的として福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により資金造成を行っている。運用に関して、定期預金は期間を1年、2年に分散しての預入れし、債券は30年の公債を保有し、各事業実施のため、福祉基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。

### (1) 福祉基金

基金総積立額		149,017,449円
令和6年度寄附金額		5,262,982円
配分額		2,551,722円
内 訳	法人運営	736,722円
	地域福祉ネットワーク	1,815,000円

### (2) 菊地久治勉学奨励基金

基金総積立額		82,203,758円
勉学奨励金配分額		3,694,390円
内 訳	勉学奨励奨学金として	3,544,390円
	勉学奨励一時金として	150,000円

### (3) 元気に育て子ども基金

基金総積立額		42,166,864円
令和6年度寄附金額		289,947円
子ども支援金配分額		36,730円

### (4) 稲垣成こ勉学奨励基金

基金総積立額		13,373,134円
令和6年度積立金額		11,000円

### (5) 福得孝養基金

基金総積立額		40,130,705円
令和6年度寄附金額		10,123,000円
令和6年度積立金額		10,123,000円

## 10 共同募金配分事業

### (1) 歳末たすけあい運動

経済的に支援が必要な在宅生活者が、明るい正月を迎えられよう支援金を贈るとともに、市内で生活に困窮する方を年間を通じて支援する活動団体への助成金による支援のため、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」において、検討・協議を経て、配分額等を決定している。対象者の確認や支援金の配分は、民生委員・児童委員協議会の協力で実施し、歳末たすけあい助成金を募集し地域配分を行った。

#### (ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

No.	月日	内容
第1回	5/28	<報告事項> ・令和5年度 歳末たすけあい募金・配分実績について <協議事項> ・令和6年度 歳末たすけあい運動配分内容の検討について
第2回	7/18	<報告事項> ・令和5年度 歳末たすけあい募金・配分実績について ・令和6年度 歳末たすけあい募金配分事業 配分計画について <協議事項> ・委員長・副委員長の選任について ・令和6年度 歳末たすけあい募金助成金の申請団体の選考について

#### (イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

月日	依頼事項
9月	配分対象者の確認（調査）依頼
10月	配分対象者の確認（調査）台帳回収
11月	配分対象者「確認票」の配布
12月	配分対象者への「在宅支援金」交付・「受領簿」の配布
1月	在宅支援金「受領簿」回収と戻入金受付・不在者引継ぎ対応
3月	歳末たすけあい運動事業報告（書面）

(ウ) 在宅支援金の配分実績

	種 別	対象世帯数	配分単価(円)	令和6年度	
				世帯(組)	金額(円)
要 保 護 世 帯	一般低所得世帯	単身	7,000	11	77,000
		家族あり	10,000	25	250,000
		家族(子あり)	11,000	114	1,254,000
	母子・父子世帯	子1人	10,000	121	1,210,000
		子2人以上	12,000	183	2,196,000
	ひとり暮らし高齢者世帯		7,000	121	847,000
	心身障がい児・者世帯	単身	7,000	5	35,000
		家族あり	10,000	13	130,000
	罹災世帯	単身	7,000	0	0
		家族あり	10,000	0	0
合 計				593	5,999,000

(エ) 歳末たすけあい募金助成金

名 称	内 訳	金 額
生活困窮者等への活動助成金	45,000 円×23 団体	1,035,000 円

(オ) 配分合計

名 称	内 訳	金 額
在宅支援金	593 世帯	5,999,000 円
生活困窮者支援団体等への活動助成金	23 団体	1,035,000 円
事務費		374,279 円
配分合計	616 世帯・団体	7,408,279 円

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	8,325,000 円
歳末たすけあい募金実績額	7,892,537 円

(キ) 次年度への繰越金

令和5年度末繰越金	7,855,771 円
令和6年度募金実績	7,892,537 円
令和6年度配分実績	7,408,279 円

次年度への繰越金（令和6年度末）

8,340,029円

## （2）児童福祉事業

（ア）交通遺児見舞金・勉学奨励金・激励金・受験費用助成金の交付

陸上交通事故により父親または母親を失った18歳未満の交通遺児（世帯）を対象世帯とし調査を行い、該当する世帯に対し担当地区民生委員の協力を得て見舞金、勉学奨励金・激励金、受験費用助成金の交付を行い交通遺児世帯の激励を行った。

交通遺児該当世帯	なし
見舞金 交付金額	なし
勉学奨励金 交付金額	30,000円
激励金 交付金	120,000円
受験費用助成金額	48,000円

## 1 1 共同募金事業への協力

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を、千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行った。

募金活動は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、法人・学校・職域・イベント等で実施した。

### (ア) 赤い羽根募金

募金目標額	12,430,000 円	募金実績額	11,324,945 円
-------	--------------	-------	--------------

### (イ) 歳末たすけあい募金

募金目標額	8,325,000 円	募金実績額	7,892,537 円
-------	-------------	-------	-------------

### (ウ) 赤い羽根共同募金説明会

・4月に地区代表者に対して共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。また、自治会あてに送付した資料にて共同募金運動についての説明、協力依頼を行った。

月 日 : 令和6年4月27日

会 場 : 佐倉ハーモニーホール(佐倉市民音楽ホール)

参加者 : 地区代表者

### (エ) 資材発送

・9月に地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根募金資材を発送する作業に協力した。また、歳末たすけあい募金資材については、11月の資材発送作業に協力した。

### (オ) 共同募金しおりづくり

・共同募金をより理解していただくこと、街頭募金活動で啓発用に配布することを目的に実施とした。今年度はしおりづくりリーダー養成講座を行い、しおりづくりを担う人材の養成を初めて行った。

《しおりづくり会》

・令和6年8月1日 社会福祉センター2階会議室 参加者 3人

・令和6年8月7日 南部児童センター 参加者 20人

・令和6年9月12日 西部地域福祉センター会議室 参加者 11人

### (カ) 佐倉市オリジナル回覧作成

・共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのかを、その流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を6,000枚作成し、自治会・町内会等へ配布した。学校、法人・団体へも協力依頼とともに配布を行った。

## 1 2 居宅介護

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

### (1) 障害福祉サービス事業

活動実績（地域生活支援事業、生活サポート事業、同行援護事業を含む）

月日	利用者数（人）			活動回数（回）		
	6年度	5年度	4年度	6年度	5年度	4年度
4月	44	45	53	253	236	312
5月	38	44	54	226	235	325
6月	35	43	50	252	214	328
7月	39	44	53	229	217	322
8月	33	40	48	204	213	281
9月	41	44	49	185	203	266
10月	44	39	49	218	209	278
11月	40	45	51	202	215	290
12月	41	40	45	190	193	250
1月	40	38	46	189	200	261
2月	41	34	50	218	194	232
3月	43	40	49	193	212	276
計	479	496	599	2,559	2,541	3,421
月平均	39.9	41.3	49.9	213.3	211.8	285.1

### 訪問介護員研修

No.	月日	場 所	内 容	参加人数
1	4/14	2階会議室	法令遵守・倫理	11名
2	5月	—	プリント研修	
3	6/16	地下研修室	感染症	10名
4	7/20	西部地域福祉センター	同行援護実技指導	8名
5	8/17	地下研修室	社協BCP	9名
6	9月	—	プリント研修	
7	10/20	西部地域福祉センター	精神障害	8名
8	11/17	地下研修室	虐待	9名
9	12/15	西部地域福祉センター	接遇	10名

10	1/19	地下研修室	禁忌時対応	8名
11	2/16	西部地域福祉センター	プライバシー保護	10名
12	3/16	西部地域福祉センター	成年後見制度	10名

## (2) 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。

月日	利用者数 (人)			活動回数 (回)		
	6年度	5年度	4年度	6年度	5年度	4年度
4月	0	3	4	0	7	4
5月	0	3	4	0	8	4
6月	1	4	5	2	8	14
7月	1	4	5	1	10	6
8月	0	3	6	0	7	8
9月	0	2	4	0	5	7
10月	0	1	4	0	1	7
11月	0	1	3	0	2	7
12月	0	0	5	0	0	8
1月	0	1	3	0	1	4
2月	0	0	2	0	0	4
3月	0	0	2	0	0	8
計	2	22	47	3	49	81
月平均	0.2	2	4	0.3	4	7

## (3) 相談支援事業 (指定計画相談支援)

月日	利用者数 (人)		
	6年度	5年度	4年度
4月	4	4	1
5月	2	0	3
6月	4	2	1
7月	2	2	0
8月	4	1	3
9月	0	2	0
10月	0	0	4
11月	5	6	2

3月

12月	1	0	2
1月	1	1	1
2月	1	1	1
3月	1	2	1
計	25	21	19
月平均	2.1	1.8	1.6



## Ⅱ 公益事業

### 1 指定管理事業

#### (1) 西部地域福祉センターの管理運営

佐倉市と締結した佐倉市西部地域福祉センターの管理に関する協定書（指定期間：令和6年度から令和10年度まで）に基づき、適切な管理運営業務を実施した。  
地域住民が地域福祉活動を推進する施設としてその場と機会を提供するとともに、福祉活動の拠点として、志津、志津南、ユーカリが丘、西志津地区社協の事務局を設置している。また、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保しボランティアセンター機能の充実を図ることにより地域福祉の増進に努めた。

#### (ア) 利用状況

区分	6年度		5年度	
	件数	人数	件数	人数
会議室	1,561件	62,634人	1,391件	51,262人
研修室	397件	5,386人	385件	5,470人
娯楽室	-	2,759人	-	2,617人
和室	-	1,401人	-	1,251人
浴室（男）	-	5,285人	-	5,197人
浴室（女）	-	2,127人	-	2,004人
浴室（計）	-	6,649人	-	7,201人

#### (イ) 相談事業

##### ①弁護士による無料法律相談

・千葉県弁護士会の協力を得て市民を対象に無料法律相談を実施。

（1日6組限定、1組当たり相談時間30分程度）

月日	参加	内容
8/23	6組	相続関係、金銭トラブル等
10/25	6組	相続（遺産分割協議の進め方）相続トラブル、不動産処分、離婚等
12/12	4組	相続、休業補償、不動産の移転登記・抹消、訴訟に対する対応
2/28	5組	相続（遺言）、相続放棄、交通事故の民事訴訟や刑事告訴について、

##### ②知的障がい児・者支援相談

・佐倉市手をつなぐ育成会との連携により、佐倉市から委嘱された障害児・者相談員が、障がいのある本人及び家族の方々に寄り添い、生活上の悩み、療育、進路等、不安を解消し、安心な生活を送るための相談支援を実施。

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	0	1	0	2	2	2	1	2	0	2	2	15

### ③行政書士による相続・遺言に関する相談

・千葉県行政書士会印旛支部の協力を得て相続・遺言に関する行政上の手続き等の相談を実施。

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	5	6	6	7	7	3	4	4	3	4	7	58

### ④みんなで学ぼう！成年後見制度&相談会

・放送劇、成年後見制度の説明とモデル事例の紹介を行い、成年後見制度についてわかりやすく講演していただき終了後個別相談会を実施。

開催日：令和6年9月4日

場所：西部地域福祉センター会議室1,2,3

参加者：54名（個別相談会：3組）

協力：公益財団法人家庭問題情報センター千葉ファミリー相談室

NPO法人佐倉市民後見人協会

志津南地区社会福祉協議会 劇団南座

### (ウ) 高齢者交流事業

#### ①自力整体

・高齢者等が健康に生活していくため、自分のペースで自分の体重を活かして、自分の身体を整体していただいた。毎月1回の開催予定であったが、講師である秋田美智子氏の長期療養のため4月7日のみ開催。 **参加者は 27名**

#### ②シニア向け身体機能維持改善事業

・自力整体の目的を引き継ぎ、高齢者等が健康に生活していくため、自分のペースで無理をせずに楽しく身体を動かし、筋力や心肺機能等の維持改善を図り転倒リスクの軽減、生活習慣病予防、認知症予防などの効果を目指し実施。

#### ③レクリエーションダンス

・日本フォークダンス連盟公認指導者の水谷順子氏を講師に、懐かしのメロディーに合わせたストレッチや、体力に合わせた簡単なダンスで脳トレ、有酸素運動を実施した。

(単位：人)

月日	6/28	7/26	8/30	7月	9/20	9/27
人数	7	8	5	6	6	3

月日	10/18	10/25	11/15	11/22	12/20	1/17	1/24	2/7	2/21	3/7	3/21	合計
人数	5	3	4	6	6	5	6	7	8	6	4	95

※ 参加者の要望により、9月から月2回に変更し実施

#### ④転倒予防体操

- ・高齢者は転倒すると医療や介護が必要な状態に陥ることが多い。健康運動指導士 戸田由香氏を講師に、筋力トレーニングやバランストレーニングを無理なく行い転倒リスクの軽減を目指した。

**参加者 ・1回 12/28 18人 ・2回 1/22 20人 ・3回 2/19 13人**

#### ⑤椅子ヨガ

- ・高齢者が健康な生活を維持していくために、筋力の維持向上を目指し、JPDA 認定ヨガインストラクターである今井遼子氏を講師に、椅子に座って軽度なヨガを実施。

	4/12	5/10	6/14	7/12	8/9	9/13	10/11	11/8	12/13	1/10	2/14	3/14	合計
件数	17	17	12	13	13	9	9	17	14	17	19	15	172

#### ⑥笑いヨガ・ミュージック

- ・ボランティア団体「笑いヨガ・ミュージック」の協力を得て、笑って歌って、高齢者の交流と健康増進を目的に実施。

月日	ボランティア団体	内容	人数
9/3	アロハ・プア・ナニ	フラダンスとハワイアン生の演奏、ギター、ウクレレ等で	19人
10/20	アロハ・プア・ナニ	シニア世代に馴染みの曲を一緒に歌う	31人
11/28	ハーモニーの会	手遊び、紙芝居とハーモニカの伴奏で合唱、ハーモニカの演奏、踊りとパリエーション	33人
12/15	やっかまし娘&おとなしボーイズ	ギター演奏に合わせて合唱、他にフラダンスなど	29人

#### ⑦生活安全セミナー

- ・高齢者が日常生活の中で起こりうる振り込め詐欺被害、投資による損害、金銭トラブル等の事前防止を図るため、生活安全セミナーを実施。

##### (1) 消費生活トラブル防止講座 「私は絶対に騙されない」

月 日 : 令和6年9月28日

会 場 : 西部地域福祉センター研修室

講 師 : 千葉県消費者センター 消費者教育コーディネーター 友崎彰氏

参加者 : 8名

#### ⑧スマホの安全な使い方講座

- ・佐倉市シルバー人材センターパソコン班の協力を得て、2日間4講座開催し基礎的な使い方

とともに、詐欺被害等に合わないよう安全に使用するためのポイントを学んだ。

月日	内 容	人数
2/12	電話のかけ方・カメラの使い方、こうほう佐倉を使って QR コードの読み取り、Google レンズの使い方（翻訳、検索）	6 人
	LINE の使い方～安全な登録設定について	7 人
2/21	スマートフォンを安全に使うための基本ポイントを知ろう ～パスワード管理、不信メールの事例紹介	5 人
	キャッシュレスを始めよう～PayPay などの使い方、安全に利用するために	5 人

#### ⑨UVレジンでアクセサリ作り教室

- ・西部地域福祉センター利用団体「クラフトルーム」の谷口千恵氏を講師に、子どもも大人も一緒に UV レジンでアクセサリ作り体験を行い、子供と大人の交流の場を提供した。3 グループでハロウィンのアクセサリチャームを作成。

月 日 : 令和 6 年 10 月 5 日

場 所 : 西部地域福祉センター研修室

参加者 : 13 名

#### ⑩健康セミナー「認知症を知り、地域で暮らせる方法を考えます」

- ・認知症は軽度認知障害の人も含め 750 万人時代であり、誰しものが認知症になりうることを前提とし、認知症になっても支えられるだけでなく生き生きと暮らしていけるよう新たな認知症の概念についての知識を習得し共に暮らしていくためにどうしたらいいのかを一緒に話し合った。

月 日 : 令和 7 年 3 月 19 日

場 所 : 西部地域福祉センター研修室

講 師 : 志津南部地域包括支援センター長、生活支援コーディネーター

参加者 : 7 名

#### (エ) ボランティアセンター事業

##### ①夏休み児童手話講座

ボランティア団体「手話サークル希望」及び佐倉市ろう者協会の協力を得て、ボランティア活動が盛んな地域形成、及びボランティア団体の活動促進を図ることを目的に実施。

月 日 : 令和 6 年 8 月 25 日

場 所 : 西部地域福祉センター会議室

参加者 : 32 名

##### ②ボランティア相談

西部ボランティアセンター室を有効活用し、ボランティア活動の盛んな地域形成を目指して、地域のボランティア活動の推進を図るため、ボランティア相談及びボランティア活動

支援を行った。内容としては、ボランティアの支援相談、活動相談、各種情報やボランティア保険、災害ボランティア保険の受付等を実施。

・ ボランティア相談件数 166 件

(オ) 子どもの健全育成事業

こどもたちが個性や創造性、社会性、自律性を身につけ、健全に成長していくための一助となることを目的として、ボランティア団体等の協力を得ながら、体験活動等を行う。

《プラネタリウム体験と星座観察》

月 日 : 令和6年11月9日

場 所 : 西部地域福祉センター会議室、1階保健センターロビー及び屋外駐車場

参加者 : 38名

講 師 : 北総星見隊 (ボランティア団体)

内 容 : 移動プラネタリウム体験、望遠鏡で星空観察

(カ) 暮らしサポートセンターとの連携事業

暮らしサポートセンター佐倉と連携し、ひきこもり対象者の就労準備の一環として行っている活動の成果 (ジャガイモ、すいか、唐辛子、大根等) の販売や、対象者が行っている活動の発表を通して、地域住民等と交流を図った。

月日	内 容
7月	・畑作業での収穫物 (ジャガイモ、すいか、唐辛子) の販売 ・グループで練習しているハンドベルの演奏
9月	・ロールプレイングゲーム「テーブルトーク」 初回として物語の登場人物について話し合い、決定
11月	・バターチキンカレー作り、大学いもを栗でチャレンジ
12月	・畑作業での収穫物 (大根) の試し掘り、おすそ分け
1月	・午前中畑で収穫作業 (大根) を行い西部地域の方に販売
2月	・マカロンづくりと試食

(キ) 定期利用団体懇談会

西部地域福祉センターを定期的に利用し、地域福祉活動を行っている団体との懇談会を開催。利用団体の紹介として活動を話していただき団体同士の交流を図った。センターの利用方法やお願いを伝え、利用団体からの要望や意見交換を実施。利用団体の発表会の提案や、利用に係る交通手段等の意見が寄せられた。

《定期利用団体懇談会》

月 日 : 令和7年2月26日

場 所 : 西部地域福祉センター研修室

参加者 : 14団体 17名

### Ⅲ 収益事業

#### 1 手数料の収入

##### (ア) 自動販売機の設置

売上合計金額 1,971,105 円

・設置場所 市内5か所 ・設置台数 11台

- ① 西部保健福祉センター 1台
- ② レインボープラザ佐倉 1台
- ③ 社会福祉センター 6台
- ④ 佐倉市民体育館 2台
- ⑤ 根郷公民館 1台

・過去3カ年の比較

年 度	設置台数	金 額
令和5年度	11台	1,563,886円
令和4年度	11台	1,725,304円
令和3年度	11台	1,341,256円

##### (イ) 広告掲載料

広報誌(社協さくら)広告掲載料により、社会福祉事業の資金造成を行った。

売上金額 360,000 円

・発行回数 年3回 ・広告掲載 1回あたり平均8社

・過去3カ年の比較

年 度	金 額
令和5年度	390,000円
令和4年度	330,000円
令和3年度	345,000円

社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会

【理事】

会 長 大藏 文子

副会長 小林 眞智子 稲阪 稔

理 事 兼坂 誠 宇田川 光三 寺田 純子 内田 節子

業務執行理事 深沢 孝志

【監 事】 西原 弘明 守友 英徳

【顧 問】 山下 興一郎 長谷川 大美

【評議員】 池 克志 伊藤 澄子 稲村 多恵子

内川 浩明 上出 和子 小長井 博子

塚田 雅二 土屋 志郎 湯川 芳朗

令和7年3月31日現在

## 私たち(佐倉市社協)の基本方針

～“佐倉市社協ブランド・アイデンティティ”～

### ☆私たちの活動理念(ビジョン)

「ありがとうが行き来するまち」

### ☆私たちの使命・役割(ミッション)

私たちは、誰もが自分の居場所があるまちをつくるために  
地域の声と地域の力をつなぎます

### ☆私たちの存在価値(バリュー)

#### 【お互いさまの気持ち】

誰もが平等に幸せに生きられる社会の実現のために、お互いを気にかけて、助け合い、声を掛け合うことができるよう「お互いさまの気持ち」を忘れずに活動します。

#### 【受け入れること】

国籍、年代、性別、財産、知力、仕事、容姿、障がいの有無などに関わらず、誰をも否定することなく、個を尊重し、その人らしさを大切にします。

#### 【主体的であること】

誰もが居場所や生きがいを自ら発見できるように私たちはサポートに徹します。私たちも待ちの姿勢ではなく、人とまちに興味を持ってアンテナを張り、足を運びます。

#### 【生きがいを持つこと】

誰もが居場所を持てるように、誰かの役に立ちたいという想いを尊重し、その人の力が発揮できるようにサポートします。そして私たちも生きがいを持ちます。

### ☆私たちの約束(プロミス)

- ①私たちは、年齢・国籍・障がいの有無等に関わらず、どんな相談も受入れ対応します
- ②私たちは、受けたすべての相談を、解決に向けて適切な機関や人につなぎます
- ③私たちは、秘密をしっかりと守ります
- ④私たちは、誰もがやりがい、生きがいを持てる活動の場や機会を提供します
- ⑤私たちは、福祉の専門性を常に高めます

# 監 査 報 告 書

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会  
会 長 大 藏 文 子 様

令和6年4月1日から令和7年3月31日までの、令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めするなど、重要な決裁書類を閲覧し業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法により当該会計年度に係る事業報告について検討いたしました。

また、会計帳簿に関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### ① 事業報告等の監査結果

(1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 理事の職務の執行に関する不正の行為、または法令、もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収入支出及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において、適正に処理しているものと認めます。

令和7年5月16日

監 事 西 京 弘 明  印

監 事 守 友 英 徳  印